NTT

無線／ＩＰ電話機能付きＶＤＳＬルータ

ＶＨ－１００ＶＲ－Ｎ

取扱説明書

このたびは、ＶＤＳＬルータ『ＶＨ－１００ＶＲ―Ｎ』をご利用いただきまして、まことにありがとうございます。

●ご使用の前に、この「取扱説明書」をよくお読みのうえ、内容を理解してからお使い下さい。
●お読みになったあとも、本商品のそばなどいつも手もとに置いてお使いください。



技術基準適合認証品

安全にご使用いただくために

情報処理装置等電波障害自主規制について

本商品は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（ＶＣＣＩ）の基準に基づくクラスＢ情報技術装置です。本商品は、家庭環境で使用することを目的としていますが、本商品がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。
本取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

リバースエンジニアリングに関する禁止事項

本商品のソフトウェアに対して、逆アセンブル、逆コンパイルなどのリバースエンジニアリングは禁止されています。

安全にご使用いただくために

ご使用にあたってのお願い

- ご使用の際は取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。
- 本取扱説明書の内容の一部、または全部を無断転載、複写、およびいかなる方法による複製も禁止します。
- 本取扱説明書、ハードウェア、ソフトウェアおよび外観の内容に関し、将来予告なしに変更することがあります。
- 本取扱説明書の内容は万全を期して作成しましたが、万一御不審な点や誤り、記載漏れなど、お気付きの点がございましたら、当社サービス取扱所まで御連絡ください。
- 本商品の故障、誤動作、不具合、あるいは停電等の外部要因によって、通信などの機会を逸したために生じた損害や万一、本商品に登録された情報内容が消失してしまうこと等の純粋経済損失につきましては、当社は一切その責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。本商品に登録された情報内容は、別にメモをとるなどして保管くださるようお願いします。
- 許可なく改造、変更を行った場合、動作の保証は致しかねます。
- 本商品を設置するための配線工事および修理には、工事担任者資格を必要としますので、無資格での工事は違法となり、また事故のもととなりますので絶対におやめください。
- 本商品は、医療機器、原子力設備や機器、航空宇宙機器、輸送設備や機器など、人命に関わる設備や機器、および高度な信頼性を必要とする設備や機器としての使用、またはこれらに組み込んでの使用は意図されておりません。
  これらの設備や機器、制御システムなどに本商品を使用され、当社装置の故障により人身事故、火災事故、社会的な損害等が生じても、当社ではいかなる責任も負いかねます。
  設備や機器、制御システムなどにおいては、冗長設計、火災延焼対策設計、誤動作防止設計など、安全設計に万全を期されるよう御注意願います。
- 本取扱説明書について当社の許可なく複製・改変などを行うことができません。
- 万一、本取扱説明書に乱丁、落丁がありましたらお取り替え致します。

安全にご使用いただくために

使用上の注意事項

本商品を安全に正しくお使いいただき、お客様やほかの人々への危害や、財産への損害を未然に防止するために、守っていただきたい事項を示しています。

使用している表示と図記号の意味は次のとおりです。
内容をよく理解してから、マニュアルをお読みください。

表示	意味
警告	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
注意	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容、および物的損害が想定される内容を示しています。
お願い	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、本商品の本来の性能を発揮できなかったり、機能停止を招く内容を示しています。
お知らせ	この表示は、本商品を取り扱ううえでの注意事項を示しています。

図記号	意味
	誤った取扱いをすると、発火の可能性が想定されることを示しています。
	誤った取扱いをすると、感電の可能性が想定されることを示しています。
	誤った取扱いをすると、けがを負う可能性が想定されることを示しています。
	安全のため、機器を水場で使用するのを禁止することを示しています。
	安全のため、機器を分解するのを禁止することを示しています。
	安全のため、電源アダプタを必ずＡＣコンセントから抜くように指示するものです。
	安全のため、アース端子付きの機器には、必ずアース線を接続するように指示するものです。

＜電源に関するご注意＞

警告	
	本商品の電源は、ＡＣ１００±１０Ｖ（５０／６０Ｈｚ）の電源以外では、絶対に使用しないでください。 異なる電圧で使用すると、火災、感電の原因となります。
	電源アダプタはＡＣコンセントに確実に差し込んでください。 電源アダプタの金属部に金属などが触れると火災、感電の原因となります。
	電源アダプタの接続は、テーブルタップや分岐コンセント、分岐ソケットを使用したタコ足配線にしないでください。 ＡＣコンセントが過熱し、火災、感電の原因となります。
	電源アダプタや電源ケーブルを加工したり、傷つけたり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったりしないでください。 電源アダプタや電源ケーブルの破損による火災、感電の原因となります。
	電源アダプタや電源ケーブルの上に、ものを載せないでください。 電源アダプタや電源ケーブルの破損による火災、感電の原因となります。
	アース端子には、必ずアース線を接続してください。 ＜ガス管には取り付けないでください＞ アース線を接続しないと、感電の原因となります。

安全にご使用いただくために

	付属の電源アダプタ以外使用しないでください。 付属の電源アダプタ以外を使用すると、火災、感電、装置故障の原因となります。
	濡れた手で電源アダプタをＡＣコンセントに抜き差ししないでください。
	電源アダプタをＡＣコンセントに接続してあるときは、濡れた手で本体に触れないでください。 感電の原因となります。

注意	
	電源アダプタをＡＣコンセントから抜くときは、必ず電源アダプタを持って抜いてください。 電源ケーブルの損傷による火災、感電の原因となることがあります。
	電源アダプタに付着したほこりを、半年から一年に一度、取り除いてください。その際には、電源アダプタをＡＣコンセントから抜いて作業を行ってください。 付着したほこりが、火災や感電の原因となることがあります。
	アース線の接続／取り外しをする場合には、必ず電源アダプタをＡＣコンセントから抜いてください。 電源アダプタをＡＣコンセントに接続したまま、アース線の接続/取り外しをすると、感電の原因となります。
	本商品をご使用にならないときは、安全のため必ず電源アダプタをＡＣコンセントから抜いてください。

＜保管および使用環境に関するご注意＞

⚠ 警告

	本商品の上や近くに花びん、植木鉢、コップ、化粧品、薬品など、液体の入った容器を置かないでください。 液体が本商品にこぼれたり、本商品の中に入ったりした場合、火災、感電、故障の原因となります。
	本商品をふろ場や加湿器のそばなど、湿度の高いところ（湿度８０％以上）では使用しないでください。 火災、感電、故障の原因となります。

⚠ 注意

	本商品や電源アダプタ、電源ケーブルを火気やストーブなどの熱器具に近づけないでください。 電源ケーブルの被覆が溶けて、火災、感電、故障の原因となることがあります。
	本商品を油飛びや湯気があたるような場所、ほこりの多い場所に置かないでください。 火災、感電、故障の原因となることがあります。

安全にご使用いただくために

<table>
<tr><td></td><td>本商品を直射日光の当たるところや、温度の高いところ（４０℃以上）に置かないでください。</td></tr>
<tr><td></td><td>本商品の通風孔には物を置かないでください。

通風孔をふさぐと内部の温度が上がり、火災、故障の原因となることがあります。</td></tr>
<tr><td></td><td>本商品を不安定な場所（ぐらついた台の上や傾いた所など）に置かないでください。

落下により、けが、故障の原因となることがあります。</td></tr>
<tr><td></td><td>本商品を振動、衝撃の多い場所に置かないでください。

落下により、けが、故障の原因となることがあります。</td></tr>
<tr><td></td><td>本商品は、横置き卓上設置ではゴム足が下になるように、縦置き卓上設置では付属の縦置き台を取り付けて設置してください。

転倒、落下によって、けが、故障の原因となることがあります。</td></tr>
<tr><td colspan="2">本商品をラジオやテレビなどのすぐそばで使用すると、ラジオやテレビなどに雑音が入ることがあります。また、強い磁界を発生する装置が近くにあると、逆に本商品に雑音が入ってくることがあります。このような場合は離して使用してください。</td></tr>
</table>

安全にご使用いただくために

＜禁止事項＞

警告

	本商品内部の点検、調整、清掃、修理は、危険ですから絶対にしないでください。 本商品の内部には電圧の高い部分があり、火災、感電の原因となります。 本商品内部の点検、調整、清掃、修理は、当社サービス取扱所に依頼してください。
	本商品内部の分解・改造は絶対にしないでください。 火災、感電、故障の原因となります。
	本商品に水などの液体を入れないでください。また、本商品を濡らしたりしないでください。 火災、感電、故障の原因となります。
	本商品の通風孔など開口部から、内部に金属類や燃えやすいものなどの異物を入れないでください。 そのまま使用すると火災、感電、故障の原因となることがあります。

安全にご使用いただくために

⚠ 注意	
⚠	本商品の上にものを載せたり、本商品に乗ったりしないでください。 特に、小さなお子様のいるご家庭ではご注意ください。 破損等により、けがの原因となることがあります。

＜異常時およびトラブルに関するご注意＞

⚠ 警告

	万一、本商品を落としたり、破損したりした場合、電源アダプタをＡＣコンセントから抜いて、当社サービス取扱所にご連絡ください。 そのまま使用すると、火災、感電、故障の原因となります。
	万一、本商品の内部に水などの液体が入った場合は、電源アダプタをＡＣコンセントから抜いて、当社サービス取扱所にご連絡ください。 そのまま使用すると、火災、感電、故障の原因となります。
	万一、異物が本商品の内部に入った場合は、電源アダプタをＡＣコンセントから抜いて、当社サービス取扱所にご連絡ください。 そのまま使用すると、火災、感電、故障の原因となります。
	電源アダプタや電源ケーブルが傷んだときは、すぐに電源アダプタをＡＣコンセントから抜いて、当社サービス取扱所に修理を依頼してください。 そのまま使用すると、火災、感電、故障の原因となります。

安全にご使用いただくために

	万一、本商品から煙が出ている、変な臭いがするなどの異常状態のときは、すぐに電源アダプタをＡＣコンセントから抜き、煙が出なくなることを確認して、当社サービス取扱所に修理をご依頼ください。 そのまま使用すると、火災、感電、故障の原因となります。

⚠注意

	落雷の恐れのあるときは、必ず電源アダプタをＡＣコンセントから抜いてご使用をお控えください。 落雷時に、火災、感電、故障の原因となることがあります。
	雷が鳴っているときは、電源アダプタに触れたり、機器の接続をしたりしないでください。 感電の原因となることがあります。

＜お手入れに関するご注意＞

注意

本商品のお手入れをする際は、安全のため必ず電源アダプタをＡＣコンセントから抜いてください。

ベンジン、シンナーなど（揮発性のもの）や薬品を用いて拭いたりしますと、変形や変色の原因となることがあります。
また、殺虫剤などをかけた場合も変形や変色の原因になることがありますので注意してください。

ＶＤＳＬに関する注意事項

- 通信速度は、パソコンの環境やプロバイダ、サーバ、接続時間帯により実際の実行速度とは異なります。
- 本商品の設置場所の近くに幹線道路、線路、送電線、送信所など電波を発するものがある場合は、十分な通信速度が出ないか、またはＶＤＳＬ回線による接続が途切れたりすることがあります。
- 遠隔検針（ノーリンギング通信サービス）や警備保障、回線自動選択装置（ＡＣＲ等）の加入電話回線を利用したサービスを利用されている場合、それらのサービスに支障をきたす場合があります。
- ＶＤＳＬ区間の距離や設備状況、他回線からの影響、お客様宅内で接続されている通信設備（ＡＣＲ等）の影響により、最大通信速度が当初より得られない場合や、通信速度が変動する状態または通信が利用できない状態となる場合があります。
- ＶＤＳＬによるインターネット常時接続をご利用の場合、ネットワークを介して外部からの不正侵入及び情報搾取等の危険が増えます。必要に応じて、お客様のパソコン上にファイアウォールのソフトウェアをインストールする等の対応をお願いいたします。

電波に関する注意事項

本商品を下記のような状況でご使用になることはおやめください。

● 心臓ペースメーカーをご使用の近くで、本商品をご使用にならないでください。心臓ペースメーカーに電磁妨害を及ぼし、生命の危険があります。

● 医療機器の近くで、本商品をご使用にならないでください。医療機器に電磁妨害を及ぼし、生命の危険があります。

● 電子レンジの近くで、本商品をご使用にならないでください。電子レンジによって、本商品の無線通信への電磁妨害が発生します。

● IEEE802.11b、IEEE802.11g通信利用時は、2.4GHz全帯域を使用する無線設備であり、移動体識別装置の帯域が回避可能です。変調方式としてDS-SS方式および、OFDM方式を採用しており、与干渉距離は20mです。

2.4 DS/OF 2
■■■

2.4　：2.4GHz帯を使用する無線設備を示す
DS/OF ：DS-SS方式およびOFDM方式を示す
2　：想定干渉距離が20m以下であることを示す
■■■：全帯域を使用し、かつ移動体識別装置の帯域を回避可能であることを意味する

この機器の使用周波数帯では、電子レンジ等の産業・科学・医療用機器のほか工場の製造ライン等で使用されている移動体識別用の構内無線局（免許を要する無線局）および特定小電力無線局（免許を要しない無線局）が運用されています。

1．この機器を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局および特定小電力無線局が運用されていないことを確認してください。
2．万が一、この機器から移動体識別用の構内無線局に対して電波干渉の事例が発生した場合には、速やかに使用周波数を変更するか又は電波の発射を停止したうえ、下記の連絡先にご連絡頂き、混信回避のための処置等についてご相談ください。
3．その他、この機器から移動体識別用の特定小電力無線局に対して電波干渉の事例が発生した場合など何かお困りのことが起きたときは、下記の連絡先へお問い合わせください。

連絡先：局番なしの113

電話機能に関する注意事項

〔IP電話と加入電話の選択〕

- 本商品に接続した電話機からは、IP電話および加入電話を利用することができます。
- IP電話として通話しているか加入電話として通話しているかは、本商品のVoIPランプまたは発信時に受話器から聞こえる音により識別できます。

〔IP電話の利用〕

- IP電話をご利用いただくためには、プロバイダ等とのIP電話サービス契約および本商品へのIP電話設定が必要です。なお、本商品がインターネットに接続されていない場合やプロバイダ等のサーバと通信できる状態にない場合、IP電話は利用できません。
- IP電話はプロバイダ等が提供するサービスです。IP電話のサービス内容や利用料金等を、ご契約されるプロバイダ等に必ずご確認ください。
- IP電話として通話した場合の通話料金はプロバイダ等から請求されます。また、IP電話として通話した場合に相手先に通知できる発信者番号は、プロバイダ等から付与されたIP電話番号です。
- IP電話として接続できない通話（IP電話サービス対象外の番号をダイヤルした場合等）は、加入電話としての発信に自動的に切替されることがあります。自動切替される条件はご契約されたIP電話サービスによって異なりますので、プロバイダ等にご確認ください。
- IP電話の通信品質は、下記のような場合に劣化することがあります。
  - ・インターネットで十分な帯域が確保できない場合
  - ・本商品に接続しているパソコンで、ファイル転送やストリーミングのような大きな帯域を必要とするサービスを使用中の場合
- IP電話でファクスやアナログモデム通信を行った場合、あるいは音声ガイドなどで通話中にプッシュ信号の入力が必要な場合は、通信に失敗することがあります。通信が失敗した場合でも、失敗するまでの通信に対して使用料金がかかります。確実に通信したい場合は、相手先電話番号の前に「００００」（ゼロを４つ）をつけてダイヤルし、加入電話をご利用ください。
- 加入電話回線に着信があった場合、ＶＤＳＬ回線による接続が途切れることがあります。ＶＤＳＬ回線による接続が途切れると、IP電話通話中の場合は通話が切断されます。
- IP電話通話中に本商品の電源が切れた場合や再起動を行った場合は、通話が切断されます。
- 本商品に接続している電話機のＡＣＲ等の機能が動作している場合、IP電話が使用できない場合があります。ＡＣＲ等の機能によって加入電話としての通話になった場合は、加入電話の通話料金がかかります。必ず電話機のＡＣＲ等の機能は停止させてください。

〔加入電話の利用〕

- 加入電話をご利用いただくためには、加入電話の契約が必要です。
- 緊急通話（110番や119番等）等、一部の電話番号（※）をダイヤルした場合は、必ず加入電話としての発信になります。本商品が加入電話に契約されていないと通話できませんのでご注意ください。
  ※他に113、116、117、177等の１から始まる３桁番号や＃で始まる番号。ただし、184、186は除きます。
- 加入電話として通話した場合の通話料金は、NTT西日本またはマイライン（マイラインプラス）に登録された電話会社から請求されます。
- 意図的に加入電話として発信したい場合は、相手先電話番号の前に「0000」（ゼロを４つ）をつけてダイヤルしてください。
- なんらかの事情によりIP電話がご利用いただけない場合は、相手先電話番号の前に「0000」（ゼロを４つ）をつけてダイヤルすることにより加入電話として通話することができます。
- 次の場合は、相手先の電話番号の前に「0000」（ゼロを４つ）をつけずにダイヤルしてください。すべて加入電話として発信します。
  - 停電時および本商品の電源が切れている場合
  - 本商品のIP電話の設定がされていない場合（本商品のVoIPランプが消灯している場合）
  - 本商品のIP電話設定がIP電話利用停止状態の場合（本商品のVoIPランプが赤色点滅している場合）
- 本商品は、お客様固有のデータを登録または保持可能な装置です。本商品内のデータが流出すると不足の損害を被る恐れがありますので、データ管理には十分お気をつけください。
- 本商品を返却される際は、本商品を初期化することにより、本商品内のデータを必ず消去してください。
- 本商品の初期化は、機能詳細ガイドに記載された初期化方法の手順に従って実施してください。

取扱説明書の使い方

本商品の取扱説明書は下記のように構成されています。ご利用の目的にあわせてお読みください。

●取扱説明書（本書）
本商品の接続のしかた、インターネット接続における基本設定および設定方法、お問い合わせ先などを記載しています。ご使用前に必ずお読みください。

●機能詳細ガイド（添付ＣＤ－ＲＯＭ）
本商品の機能や設定方法をより詳しく記載しています。より高度な機能をご使用になる場合にお読みください。

本商品を使用して、インターネットに接続するまでの流れは、下記のようになります。

本商品と付属品の確認

『1-1 本商品と付属品の確認』を参照してください（本書2ページ）。

▼

設置・接続の確認

『1-4 本商品の設置方法』を参照してください（本書7ページ）。
『1-5 本商品の接続方法』を参照してください（本書9ページ）。

▼

パソコンの設定

『2章　パソコンのネットワーク設定』を参照してください（本書13ページ）。

▼

インターネット接続の設定

『3-1 本商品へのログイン』を参照してください（本書28ページ）。
『3-2 PPPoE接続（かんたん設定）』を参照してください（本書29ページ）。
『3-3 VDSL動作モードの設定』を参照してください（本書30ページ）。

▼

インターネット接続の確認

『3-4 インターネットへの接続確認』を参照してください（本書31ページ）。

取扱説明書の使い方

＜商標＞

・Windows ® は、米国Microsoft Corporation の米国、およびその他の国における登録商標または商標です。
・Windows ® XPは、Microsoft ® Windows ® XP Home Edition operating system、および Microsoft ® Windows ® XP Professional operating system の略です。
・Windows ® 2000は、Microsoft ® Windows ® 2000 Professional operating systemの略です。
・Windows ® Meは、Microsoft ® Windows ® Millennium Edition operating systemの略です。
・Windows ® 98SEは、Microsoft ® Windows ® 98 Second Edition operating systemの略です。
・Netscape ® は、米国Netscape Communications Corporationの米国、およびその他の国における登録商標または商標です。
・Mac ® 、Macintosh ® 、Mac OS ® は、米国、およびその他の国における米国アップルコンピュータ社の登録商標または商標です。
・Acrobat ® Readerは、Adobe Systems Incorporated（アドビシステムズ社）の米国、およびその他の国における登録商標または商標です。
・JavaScript ® は、米国Sun Microsystems, Inc. の米国、およびその他の国における登録商標または商標です。
・Ethernet ® は、米国XEROX社の商標登録です。

本取扱説明書中に記載されている、その他の会社名、装置・サービス名は、各社の登録商標または商標です。

®マークおよび ™表記については本文中に明記しておりません。

＜注意事項＞

付属品のCD-ROMは、日本語版OS以外の動作保証はしておりません。
付属品のCD-ROMは、ソフトウェアのバックアップとして保有する場合に限り、複製することができます。また、ソフトウェアについてのいかなる改変も禁止とし、それに起因する障害について当社は一切の責任を負いません。

ＣＤ－ＲＯＭ収録の機能詳細ガイド閲覧方法

■ Windowsをお使いの場合

１．CD-ROMをパソコンにセットしてください。

２．Acrobat Readerを起動して、「機能詳細ガイド」のファイルを開いてください。

■ Macintoshをお使いの場合

１．CD-ROMをパソコンにセットしてください。

２．Acrobat Readerを起動して、「機能詳細ガイド」のファイルを開いてください。

＜注意事項＞

Acrobat Readerがパソコンにインストールされていない場合、「機能詳細ガイド」のファイルを開くことができません。付属のCD-ROMに収録されているAcrobat Readerをインストールしてください。

目次

１章　ご使用になる前に

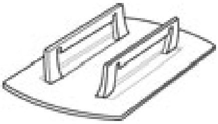
この章では、付属品や各部の名称、ご使用になる前に確認していただきたいことや取り付け方法を説明します。

1-1　本商品と付属品の確認

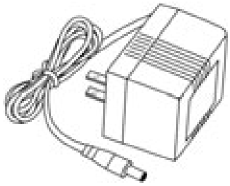
VH-100VR-N（１台）



縦置き台（１個）



電源アダプタ（１個）



無線LANカードスロットカバー（１個）

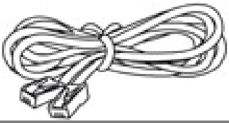


（出荷時、本商品に装着されています）

CD-ROM［機能詳細ガイド］（１枚）



UTPケーブル（１本、長さ２m）



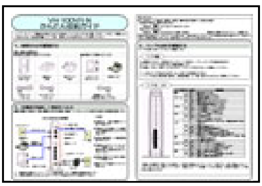
モジュラケーブル（１本、長さ２m）



取扱説明書（本書１冊）



セットアップガイド
［かんたん接続ガイド］
（A３シート、１枚）



IP電話サービスをご利用のお客様へ（A５シート、１枚）

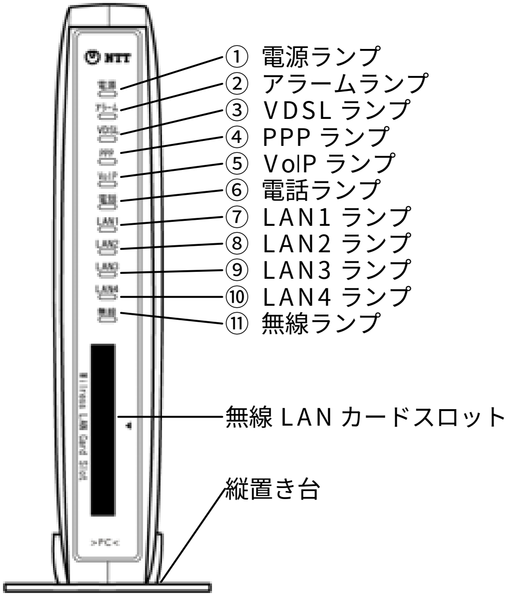


- ●本商品で無線LAN機能を使用する場合、無線LANスロットカバーを取り外して、無線LANカード（VH-100VC-N）を挿入してください。
- ●セットに足りないものがあったり、取扱説明書に乱丁・落丁があった場合などは、当社のサービス取扱所にご連絡ください。
- ●アース線は添付されていません。
- ●電話機接続用のコードは添付されていません。

1-2　本商品の各部名称

VH-100VR-N（本体部分）

■前面図



■前面ランプ表示

ランプ名称	色	状態	機能説明
① 電源	―	消灯	・電源が切れています。
	緑	点灯	・電源が投入されています。
② アラーム	―	消灯	・装置は正常動作しています。
	赤	点滅	・電源投入時、セルフチェック中です。
		点灯	・装置の異常状態を検出しています。
③ VDSL	―	消灯	・VDSL回線がリンクダウン中です。
	緑	点滅	・VDSL回線がトレーニング中です。
		点灯	・VDSL回線がリンク確立中です。
④ PPP	―	消灯	・PPPリンクが確立していません。
	緑	点滅	・PPP認証中です。
		点灯	・PPPリンクが確立しています。

ランプ名称	色	状態	機能説明
⑤ VoIP	―	消灯	・IP電話の設定がされていないため、IP電話は利用できない状態です。
	緑	点滅	・IP電話で通話中です。
		点灯	・IP電話が利用可能な状態です。
	赤	点滅	・IP電話の利用を停止している状態です。
		点灯	・設定誤りもしくはネットワーク障害により、IP電話が利用できない状態です。
⑥ 電話	―	消灯	・受話器をおいている状態、受話器をあげている状態、IP電話で通話中の状態です。
	緑	点滅	・加入電話で通話中です。
⑦ LAN1	―	消灯	・LAN1のリンクが未確立です。
	緑	点滅	・LAN1でデータの送受信をしています。
		点灯	・LAN1のリンクが確立しています。
⑧ LAN2	―	消灯	・LAN2のリンクが未確立です。
	緑	点滅	・LAN2でデータの送受信をしています。
		点灯	・LAN2のリンクが確立しています。
⑨ LAN3	―	消灯	・LAN3のリンクが未確立です。
	緑	点滅	・LAN3でデータの送受信をしています。
		点灯	・LAN3のリンクが確立しています。
⑩ LAN4	―	消灯	・LAN4のリンクが未確立です。
	緑	点滅	・LAN4でデータの送受信をしています。
		点灯	・LAN4のリンクが確立しています。
⑪ 無線	―	消灯	・無線LAN機能が無効状態です。
	緑	点滅	・無線LANで、データの送受信をしています。
		点灯	・無線LAN機能が有効状態です。

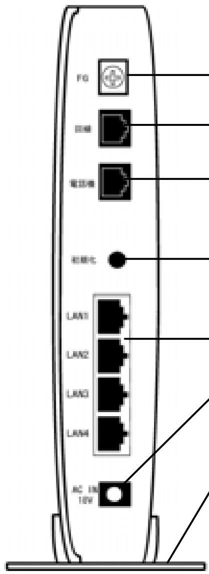
お知らせ

●無線LAN機能をご使用になる場合は、本商品の無線LANスロットカバーを取り外した後に無線LANカード（VH-100VC-N）を挿入してください。無線LANカードを装着していない場合は、本商品の無線ランプは常に消灯状態となります。

■その他機能

名称	表示	機能説明
無線LAN カードスロット	◁	・無線LANカードを挿入します。無線カード上部が矢印表示にあうように挿入します。
縦置き台	----	・装置を縦置き設置する際に使用する台です。横置き設置時は取り外してください。

■背面図



■背面機能

名称	表示	機能説明
アース端子	FG	・アース線を接続するための端子です。 （アース線は付属されていません）
VDSL回線ポート	回線	・付属のモジュラケーブルを使用して、VDSL回線を接続するためのポートです。
電話機ポート	電話機	・電話機コードを使用して電話機を接続するためのポートです。 （電話機接続用のコードは付属されていません）
初期化スイッチ	初期化	・設定を初期化するために使用するスイッチです。
LANポート1	LAN1	・付属のUTPケーブルを使用してパソコンやハブなどと接続するためのポートです。
LANポート2	LAN2	・付属のUTPケーブルを使用してパソコンやハブなどと接続するためのポートです。
LANポート3	LAN3	・付属のUTPケーブルを使用してパソコンやハブなどと接続するためのポートです。
LANポート4	LAN4	・付属のUTPケーブルを使用してパソコンやハブなどと接続するためのポートです。
電源アダプタ端子	AC IN 18V	・電源アダプタのコードを差し込みます。

1-3　ご使用のパソコン環境の確認

パソコンのLANポートの確認

本商品とご使用のパソコンとを接続するためには、LANポート（100BASE-TX、もしくは10BASE-Tに対応)がパソコンに必要となります。ご使用になっているパソコンにLANポートが装備されていない場合は、100BASE-TX／10BASE-T対応のLANボードもしくはLANカードをあらかじめご準備のうえ、パソコンに取り付けてください。
取り付けたLANボード及びカードについては、各取扱説明書に従い正しく動作することをご確認ください。なお、LANボード及びカードの詳細については、購入元の各メーカもしくは販売店にお問い合わせいただきますようお願いいたします。

Webブラウザ環境の確認

本商品は、Webブラウザで各種設定を実施することができます。
Webブラウザを使用して設定を実施する場合は、以下の点に注意してください。

●本商品が対応するブラウザは、下記の通りです。

■Windows XP/2000/Me/98SEをご使用の場合
・Microsoft Internet Explorer Ver. 5.5以上に対応
・Netscape Ver. 6.1以上に対応
■Mac OS X/9.x/8.xをご使用の場合
・Microsoft Internet Explorer Ver. 5.0以上に対応
・Netscape Ver. 6.01以上に対応

●本取扱説明書の説明で使用している画面表示は、ご使用のWebブラウザやOSバージョンによって異なります。

●説明されている操作を行った場合に、ご使用のWebブラウザやブラウザの設定によるキャッシュ機能のため、Webブラウザが以前に保存していた内容を表示する場合があります。

●回線の状況や設定によっては、設定内容がWebブラウザに表示されるまでに時間がかかる場合があります。

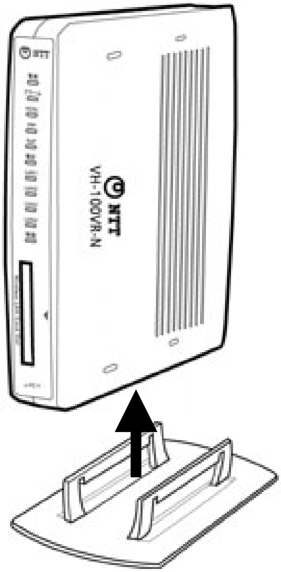
1-4　本商品の設置方法

本商品は、縦置き設置および横置き設置が可能です。
冷蔵庫やテレビ等、ノイズ源となる可能性のある機器の近くには設置しないでください。
ＶＤＳＬ回線に影響が出る可能性があり、十分な速度が出ないことがあります。

縦置き設置方法

右図に示すように、本商品本体に付属の縦置き台を取り付けてご使用ください。

縦置き台の爪が本体の穴に合うように取り付けてください。



⚠ 注意

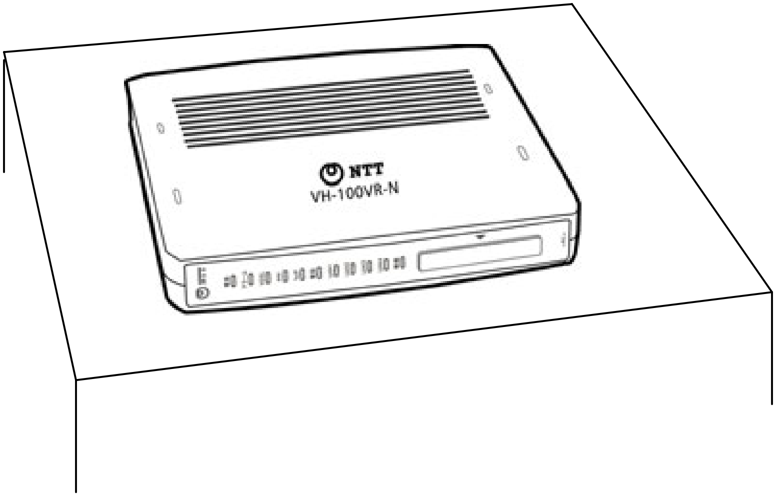
●本商品を縦置き状態で使用する場合は、必ず縦置き台を取り付けてください。設置状態が不安定となり、落下により、けが、故障の原因となることがあります。

お願い

●本商品の、前後左右5cm、および上5cm以内に、パソコンや壁などの物がない場所に設置してください。換気が悪くなると本体内部の温度が上昇し、故障の原因となります。

横置き設置方法

下図に示すように、ゴム足が下になるように設置してください。



注意

●本商品を横置き状態で使用する場合は、不安定な台の上に置かないでください。設置状態が不安定となり、落下により、けが、故障の原因となることがあります。

お願い

●本商品の、前後左右5cm、および上5cm以内に、パソコンや壁などの物がない場所に設置してください。換気が悪くなると本体内部の温度が上昇し、故障の原因となります。

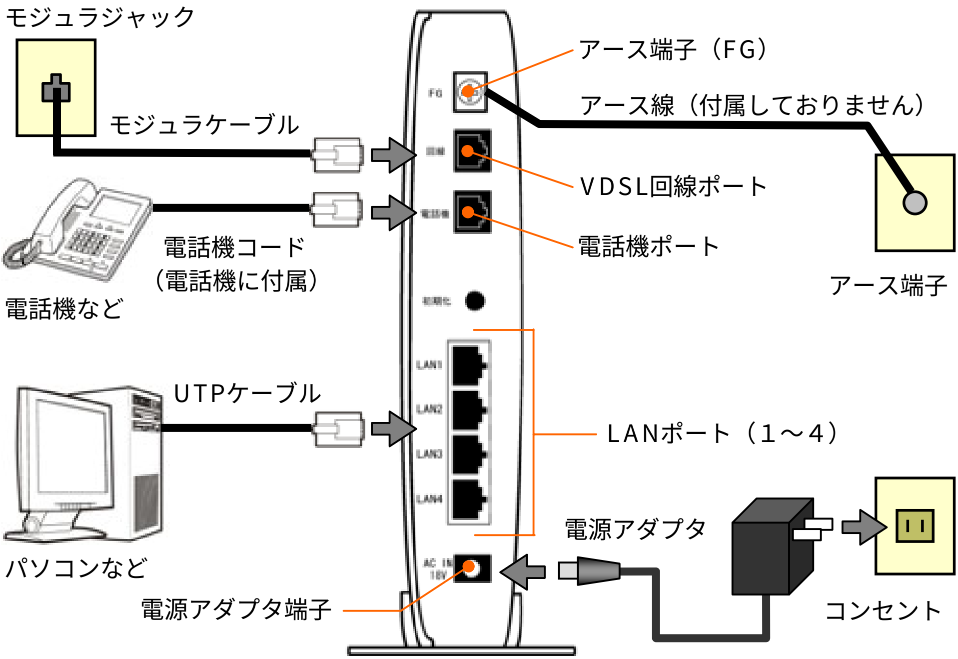
1-5　本商品の接続方法

１．アース線の接続

アース線は、本商品に付属していません。別途ご準備願います。

２．ＶＤＳＬ回線の接続

本商品のＶＤＳＬ回線ポート（表示：回線）とＶＤＳＬ用回線のモジュラジャックを付属のモジュラケーブル（長さ：2m）で接続します。



お願い

●ＶＤＳＬ回線接続用のモジュラケーブルを、間違って電話機ポートやＬＡＮポートに接続しないようにしてください。ＶＤＳＬ回線リンクが確立されません。

３．電話機の接続

本商品の電話機ポートに電話機を接続します。
電話機接続用のモジュラケーブルは、本商品に付属していません。別途ご準備願います。

お願い

●電話機接続用のモジュラケーブルを、間違ってＶＤＳＬ回線ポートやＬＡＮポートに接続しないようにしてください。電話をかけることができません。

４．パソコンの接続

本商品のＬＡＮポートにパソコンを接続します。
パソコンは、電源を切断した状態で取り付けてください。

５．電源コードの接続

電源アダプタのコードを本商品の電源アダプタ端子に接続します。
電源アダプタのコードを本商品に接続する前に、電源アダプタをコンセントに差し込まないでください。

注意

●付属の電源アダプタ以外は使用しないでください。付属の電源アダプタ以外を使用すると、火災、感電、装置故障の原因となります。

６．電源アダプタのコンセントへの接続

電源アダプタをコンセントに差し込んでください。この時、本商品の電源ランプが点灯することを確認してください。

＜電源投入後のランプ状態について＞

①電源を入れると､本商品のセルフチェックが始まり､アラームランプが点滅を始めます。
②アラームランプが消灯すると装置が起動します。

７．ＶＤＳＬ回線リンクの確認

本商品のＶＤＳＬランプが点滅を開始することを確認してください。点滅開始後しばらく経過すると、ＶＤＳＬランプが点灯します。
ＶＤＳＬランプは、ＶＤＳＬ回線を接続後、３０秒～5分程度で点灯します。

ＶＤＳＬランプが点滅を続けている場合は、「6-1 トラブルシューティング」（P.58）を参照のうえ、対処してください。

お知らせ

●契約内容が「VH-50Ⅱ」の場合、出荷設定ではＶＤＳＬランプは点灯状態になりません。「VH-50Ⅱ」の場合の設定変更内容については、「3-3 VDSL動作モードの設定」（P.30）にて解説しますので、ＶＤＳＬランプは点滅のまま進んでください。

８．パソコンのネットワーク設定

パソコンの電源を入れ、接続したLANポートに該当する本商品のLANランプが点灯することを確認してください。

確認がとれた場合には、２章「パソコンのネットワーク設定」（P.13）に進んでください。

接続したLANポートに該当するLANランプが点灯しない場合は、「6-1 トラブルシューティング」（P.58）を参照のうえ、対処してください。

お知らせ

●ご使用になる機器や設置場所などの使用条件に応じて接続状態を変える必要があるため、本章で示される接続図は、実際のご使用環境と異なる場合があります。
●本商品の電話機ポートに接続できる電話機は１台までです。
●ＶＤＳＬ回線の開通工事が完了していない場合、ＶＤＳＬランプは点滅のままで点灯しません。

２章　パソコンのネットワーク設定

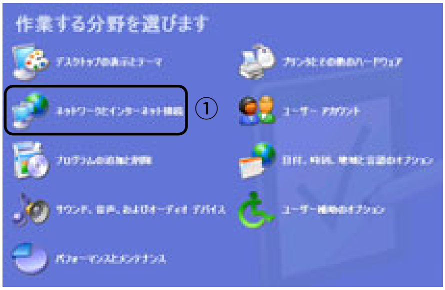
この章では、インターネットに接続するために必要なパソコンのネットワーク設定を説明します。
（本章の設定画面は、本商品のDHCPサーバ機能が工場出荷時設定である「使用する」設定の場合の設定例です。）

2-1　Windows XPをご使用の場合

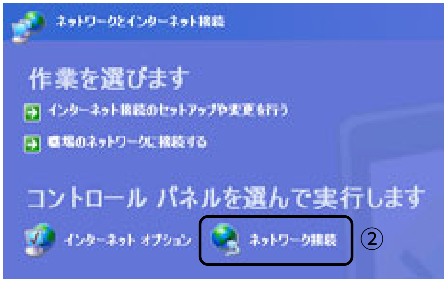
本章では、Windows XPの通常表示（カテゴリー表示）モードを前提とした記述になっています。ご使用のWindows XPの設定によっては、画面表示が異なる場合があります。

1．［スタート］→［コントロールパネル］を選択します。

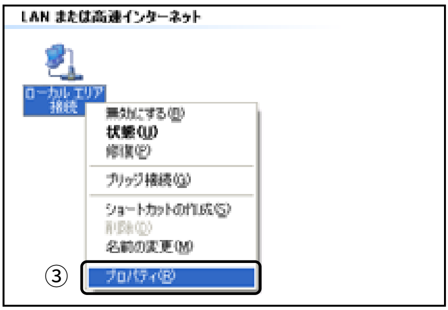
2．［コントロールパネル］ウィンドウに表示される［ネットワークとインターネット接続］をクリックします。（右図中の①）



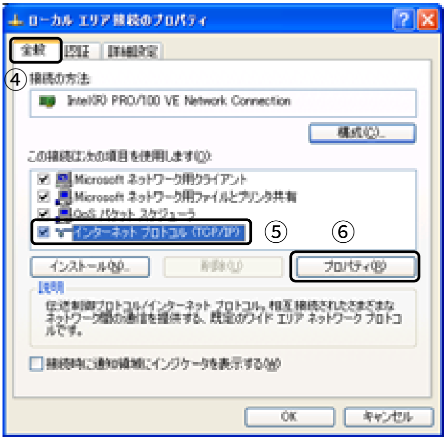
3．［ネットワークとインターネット接続］ウィンドウに表示される［ネットワーク接続］をクリックします。（右図中の②）



4．［ローカルエリア接続］アイコンを右クリックし、［プロパティ］をクリックします。（右図中の③）

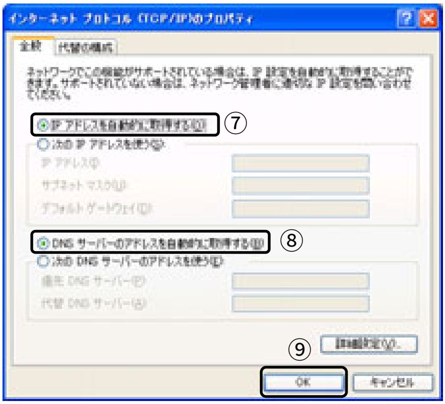


5．［全般］タブをクリックし、［インターネットプロトコル（TCP/IP）］を選択し、［プロパティ］をクリックします。（右図中の④⑤⑥）



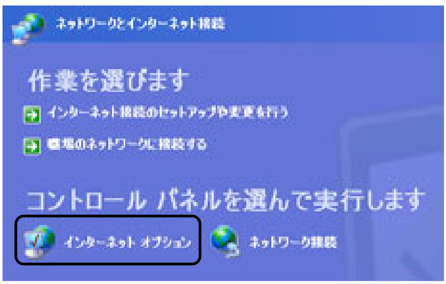
6．[IPアドレスを自動的に取得する]と[DNSサーバーのアドレスを自動的に取得する]を選択し、［OK］をクリックします。（右図中の⑦⑧⑨）

7．［ローカルエリア接続のプロパティ］ウィンドウの［OK］をクリックし、ウィンドウを閉じます。



8．［ネットワーク接続］ウィンドウで［戻る］をクリックして［コントロールパネル］ウィンドウに戻り、［インターネットオプション］をクリックします。（右図中の⑩）

⑩



９．［接続］タブをクリックし、［ダイヤルしない］を選択し、［ＯＫ］をクリックします。（右図中の⑪⑫⑬）



10．設定完了後は、「2-5 パソコンの接続確認」（P.23）に進んでください。

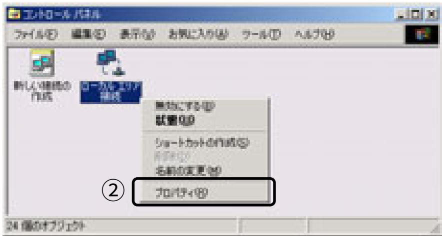
2-2　Windows 2000をご使用の場合

1．［スタート］→［設定］→［コントロールパネル］を選択します。

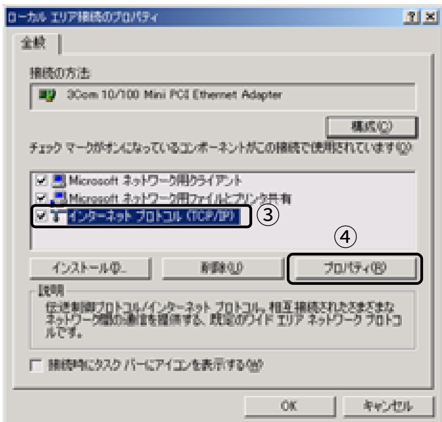
2．［ネットワークとダイヤルアップ接続］をダブルクリックします。（右図中の①）



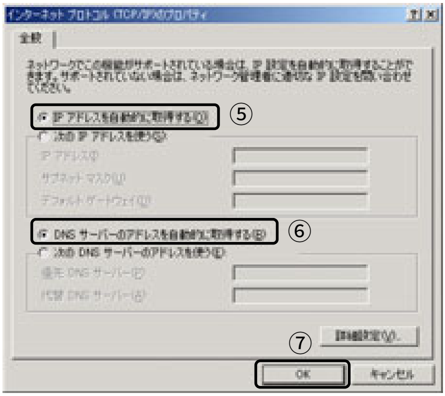
3．［ローカルエリア接続］を右クリックし、［プロパティ］をクリックします。（右図中の②）



4．［インターネットプロトコル（TCP/IP）］を選択し、［プロパティ］をクリックします。（右図中の③④）



5．[IPアドレスを自動的に取得する]と[DNSサーバーのアドレスを自動的に取得する]を選択し、［OK］をクリックします。（右図中の⑤⑥⑦）

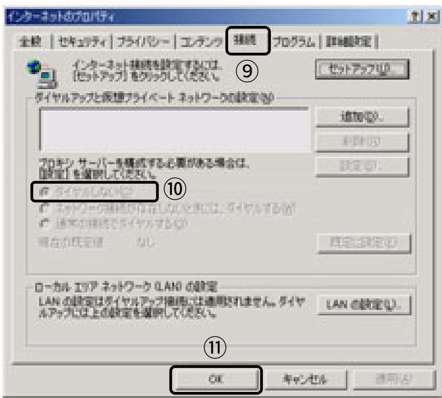


6．［ローカルエリア接続のプロパティ］ウィンドウの［OK］をクリックし、ウィンドウを閉じます。

7．［ネットワークとダイヤルアップ接続］ウィンドウで［戻る］をクリックし、［コントロールパネル］ウィンドウに戻り、［インターネットオプション］をダブルクリックします。（右図中の⑧）



8．［接続］タブをクリックし、［ダイヤルしない］を選択し、［OK］をクリックします。（右図中の⑨⑩⑪）

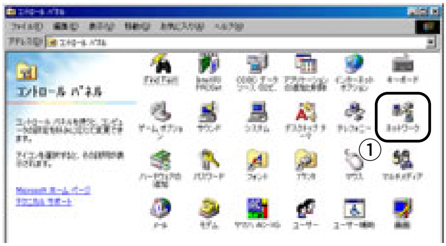


9．設定完了後は、「2-5 パソコンの接続確認」（P.23）に進んでください。

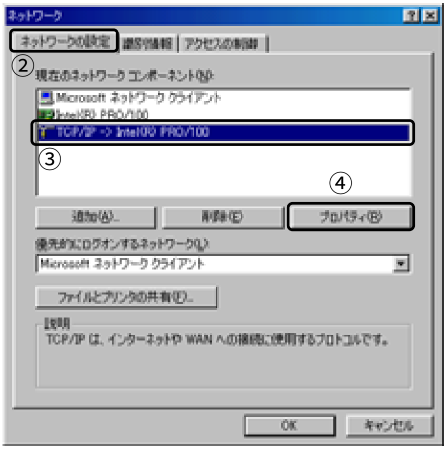
2-3　Windows Me/98SEをご使用の場合

1．［スタート］→［設定］→［コントロールパネル］を選択します。

2．［ネットワーク］アイコンをダブルクリックします。（右図中の①）



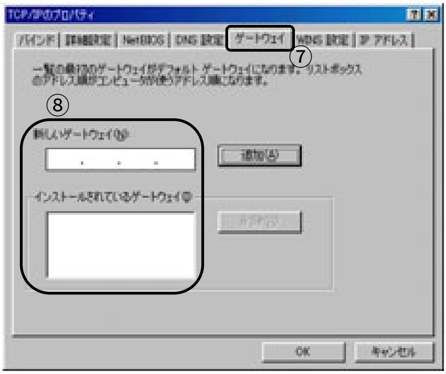
3．[ネットワークの設定]タブをクリックし、ご使用になるLANカードの［TCP/IP ->（LANカードの名前）］を選択し、［プロパティ］をクリックします。（右図中の②③④）



4．［IPアドレス］タブをクリックし、［IPアドレスを自動的に取得］を選択します。（右図中の⑤⑥）



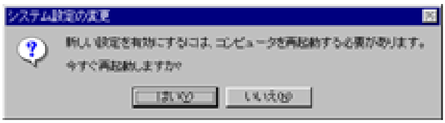
5．［ゲートウェイ］タブをクリックし、何も指定されていないことを確認します。（右図中の⑦⑧）



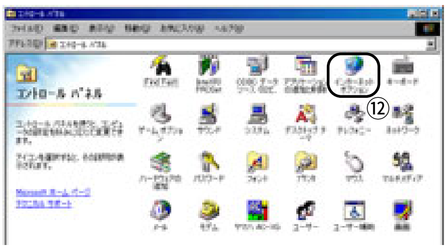
6．［DNS設定］タブをクリックし、［DNSを使わない］を選択し、［OK］をクリックします。（右図中の⑨⑩⑪）



7．［ネットワーク］ウィンドウの［OK］をクリックし、ウィンドウを閉じると、「再起動」メッセージが表示されますので、再起動を実行します。



8．再起動後、手順１を実施し、［インターネットオプション］アイコンをダブルクリックします。（右図中の⑫）



９．［接続］タブをクリックし、［ダイヤルしない］を選択し、［ＯＫ］をクリックします。（右図中の⑬⑭⑮）



10．設定完了後は、「2-5 パソコンの接続確認」（P.23）に進んでください。

2-4　Mac OSをご使用の場合

2-4-1　Mac OS Xの場合

1．アップルメニューの［システム環境設定］を開き、［ネットワーク］を選択します。



2．［表示］を［内蔵Ethernet］とし、［設定］を［DHCPサーバを参照］にします。（右図中の①②）

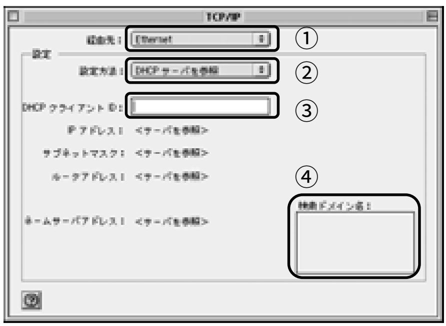
3．［DHCPクライアントID］と［検索ドメイン］、［DNSサーバ］を空白にします。（右図中の③）

4．［今すぐ適用］をクリックし、ウィンドウを閉じます。（右図中の④）

5．設定完了後は、「2-5 パソコンの接続確認」（P.23）に進んでください。

2-4-2　Mac OS 9.x/8.xの場合

1．アップルメニューの［コントロールパネル］の［TCP/IP］を開きます。



2．［経由先］を［Ethernet］とします。（右図中の①）

3．［設定方法］を［DHCPサーバを参照］とし、［DHCPクライアントID］と［検索ドメイン名］を空白にして、ウィンドウを閉じます。（右図中の②③④）

4．確認のダイアログが表示されたら［保存］をクリックします。

5．設定完了後は、「2-5 パソコンの接続確認」（P.23）に進んでください。

2-5　パソコンの接続確認

本商品とパソコンとの接続確認

本章では、パソコンのIPアドレスの確認を行います。パソコンのOSの種類によって、確認方法が異なりますので注意してください。

IPアドレスの確認終了後は、３章「インターネット接続」（P.27）に進んでください。

■本商品のLAN側IPアドレスの確認

本商品のLAN側IPアドレスは、初期状態（出荷時設定）で「192.168.116.1」に設定されています。本商品のLAN側IPアドレスを変更する場合は、付属のCD-ROMに収録されている「機能詳細ガイド」を参照して、「LAN側IPアドレスの設定」をご確認ください。

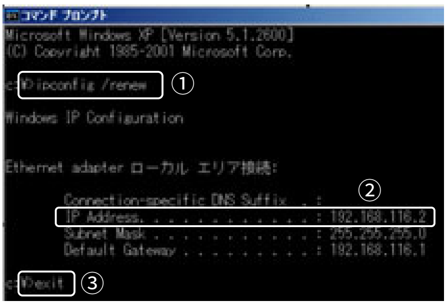
■パソコンのIPアドレスの確認（Windows XP）

１．パソコンに接続されているLANポートのLANランプ点灯を確認してください。

２．［スタート］→［すべてのプログラム］→［アクセサリ］→［コマンドプロンプト］を実行してください。

３．［コマンドプロンプト］の画面が表示されたら、［ipconfig /renew］と入力して、［Enter］を押してください。（右図中の①）

４．IP Addressが「192.168.116.XXX」と表示されることを確認してください（末尾には、１を除く数字が入ります）。（右図中の②）



５．「exit」と入力して、［Enter］を押してください。（右図中の③）

■パソコンのIPアドレスの確認（Windows ２０００）

１．パソコンに接続されているLANポートのLANランプ点灯を確認してください。

２．［スタート］→［プログラム］→［アクセサリ］→［コマンドプロンプト］を実行してください。

３．［コマンドプロンプト］の画面が表示されたら、［ipconfig /renew］と入力して、［Enter］を押してください。（右図中の①）

４．IP Addressが「192.168.116.XXX」と表示されることを確認してください（末尾には、１を除く数字が入ります）。（右図中の②）



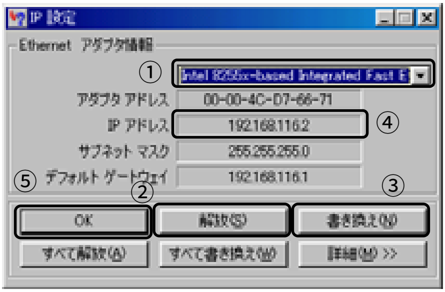
５．「exit」と入力して、［Enter］を押してください。（右図中の③）

■パソコンのIPアドレスの確認（Windows Me/98SE）

1．パソコンに接続されているLANポートのLANランプ点灯を確認してください。

2．［スタート］→［ファイル名を指定して実行］をクリックし、「winipcfg」と入力し、［OK］をクリックしてください。

3．［IP設定］ウィンドウで、ご使用になるLANカード／ボードを選択してください（逆三角形部分を押します）。（右図中の①）



4．本商品にパソコンを接続する前に既にパソコンの電源が投入されていた場合は、［解放］→［書き換え］をクリックしてください。（右図中の②③）

5．IPアドレスが「192.168.116.XXX」と表示されることを確認してください（末尾には、１を除く数字が入ります）。（右図中の④）

6．［OK］をクリックしてください。（右図中の⑤）

■パソコンのＩＰアドレスの確認（Mac OS X）

1．パソコンに接続されているLANポートのLANランプ点灯を確認してください。

2．アップルメニューから［システム環境設定］を開き、［ネットワーク］を選択してください。

3．IPアドレスが「192.168.116.XXX」と表示されることを確認してください（末尾には、１を除く数字が入ります）。（右図中の①）

4．ウィンドウを閉じてください。



■パソコンのIPアドレスの確認（Mac OS 9.x/8.x）

1．パソコンに接続されているLANポートのLANランプ点灯を確認してください。

2．アップルメニューから［コントロールパネル］→［TCP/IP］を選択してください。

3．IPアドレスが「192.168.116.XXX」と表示されることを確認してください（末尾には、１を除く数字が入ります）。（右図中の①）

4．ウィンドウを閉じてください。

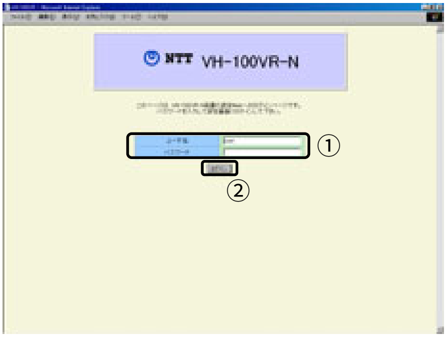


３章　インターネット接続

この章では、Webブラウザからインターネットに接続するために必要な本商品の基本設定を説明します。
（本章は、PPPoE接続によってインターネットに接続する場合の設定例です。）

3-1　本商品へのログイン

Internet ExplorerやNetscape等のWebブラウザで本商品の設定を行うことができます。



1．ブラウザを起動し、本商品のIPアドレスを指定して、アクセスを行ってください。初期設定では、本商品LAN側IPアドレスが「192.168.116.1」に設定されているので「http://192.168.116.1/」とアドレス入力欄に入力してください。

2．ログイン画面で、パスワードを入力し、「ログイン」ボタンをクリックしてください。初期状態のパスワードは「user」に設定されています（右図中の①②）。

3．ログイン後は、左／右フレームにメニュー画面／選択画面が表示されます。

本商品のログイン用のパスワードを変更する場合は、付属のCD-ROMに収録されている「機能詳細ガイド」を参照して、「ログインパスワードの設定」をご確認ください。

ログインの完了後は、「3-2 PPPoE接続（かんたん設定）」に進んでください。

お願い

●お使いのWebブラウザの設定で、JavaScript機能を有効にしてください。
●WebブラウザやOSの設定でプロキシサーバを使用する設定になっていると正しく操作できないことがありますので注意してください。
●ダイヤルアップの設定がある場合は、インターネットのプロパティ画面の［ダイヤルしない］を選択してください。

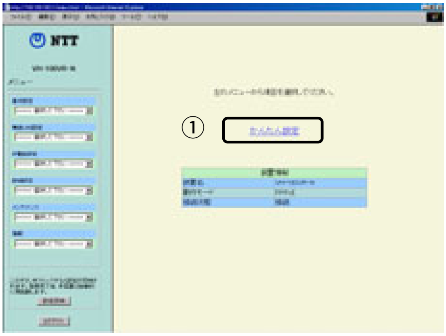
お知らせ

●本書説明で使用している画面表示は、ご使用になるWebブラウザやOS、バージョンによって異なります。
●本商品のパスワードは、ログイン時に必要となりますので、パスワード変更時は忘れないように控えておいてください。

3-2　PPPoE接続（かんたん設定）

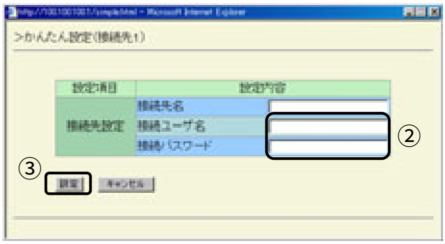
本章は、PPPoE接続を行うために必要な設定を解説します。本接続には、接続認証用のユーザ名（ユーザID）とパスワードが必要となりますので、ご利用になるプロバイダから事前に通知された資料をお手元に用意してください。

1．本商品のWeb画面にログイン後、右フレーム画面で［かんたん設定］をクリックしてください（右図中の①）。



2．「かんたん設定（接続先１）」ウィンドウが表示されますので、「接続ユーザ名」と「接続パスワード」の入力欄に、通知されたユーザ名（ユーザID）とパスワードを記入してください（大文字／小文字、全角／半角に注意してください）。入力したパスワードは、「＊」や「●」で表示されます（右図中の②）。
（例：接続ユーザ名　xxxx@xxxx.ne.jp）

3．［設定］ボタンをクリックし、本ウィンドウを閉じてください（右図中の③）。



PPPoE接続（かんたん設定）の設定完了後は、「3-3 VDSL動作モードの設定」に進んでください。

お知らせ

●本商品で使用する接続先を変更する場合や詳細な設定を行う場合は、付属のCD-ROMに収録されている「機能詳細ガイド」の、第６章「WAN側インタフェースの設定」をご確認ください。

3-3　VDSL動作モードの設定

本章は、VDSL動作モードの設定について解説します。契約内容に従って、VDSL動作モードを設定する必要があります。



1．左メニュー画面で［基本設定］→［モード設定］を選択し、右フレームに「モード設定」画面が表示されることを確認してください（右図中の①）。

2．「VDSL動作モード」で、契約時に指定されるVDSL動作モードを選択してください（右図中の②）。

■「VH-50Ⅱ」の場合
・「VH-50Ⅱ対向モード」を設定
■「VH-50Ⅲ/VH-70/VH-100」の場合
・「VH-50Ⅲ、70、100対向モード」を設定

3．選択後は、［設定］ボタンをクリックしてください（右図中の③）。

4．左フレームのメニュー画面下の［設定反映］ボタンをクリックしてください。設定が反映され、装置が自動的に再起動します（右図中の④）。

5．装置再起動後、VDSLランプが点灯し（VDSL回線リンクが確立）、PPPランプが点灯することを確認してください。

手順５を確認した後は、「3-4 インターネットへの接続確認」に進んでください。

手順５で、VDSLランプが点灯せず、点滅が続く場合は「3-3 VDSL動作モードの設定」において「VDSL動作モード」が正しく設定されていない可能性があるため、「3-3 VDSL動作モードの設定」の手順１からやり直してください。
手順５で、VDSLランプ点灯後、PPPランプが点灯せず、点滅が続く場合は「3-2 PPPoE接続（かんたん設定）」において「接続ユーザ名」と「接続パスワード」の入力が正しくない可能性があるため、「3-2 PPPoE接続（かんたん設定）」の手順１からやり直してください。
それでも解決しない場合は、「6-1 トラブルシューティング」（P.58）を参照のうえ、対処してください。

3-4　インターネットへの接続確認

本商品のPPPランプが点灯していることを確認の上、インターネットへの接続を実施してください。ランプが点滅もしくは消灯状態では、インターネットへの接続はできませんので、注意してください。

１．Webブラウザを起動します。

２．ブラウザのアドレス入力欄に指定のURLもしくはIPアドレスを入力してください。またはブラウザの「お気に入り」や「ブックマーク」等に登録されているリンクを選択してください。

４章　IP電話の使用方法

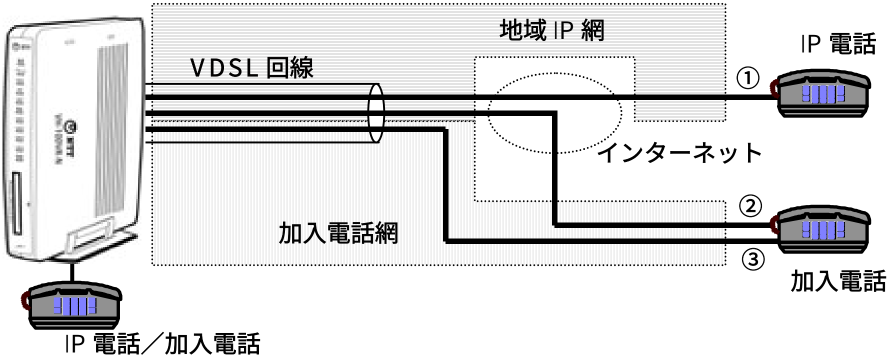
この章では、IP電話をご使用になるときの注意点やIP電話の使用方法を説明します。
詳細については、付属のCD-ROMに収録されている「機能詳細ガイド」を参照してください。

4-1　IP電話と一般電話の構成

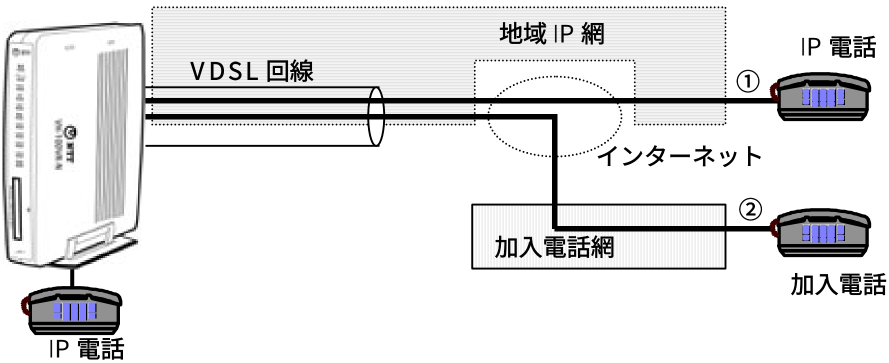
本商品の電話機能を利用した場合、電話回線の経路は下記に示すような構成となります。

① IP電話からIP電話への通話（インターネット経由）
② IP電話から加入電話への通話（インターネットを経由して加入電話網への経路）
③ 加入電話から加入電話への通話（加入電話網経由）

1．加入電話の契約をしている場合



2．加入電話の契約をしていない場合



4-2　IP電話をご使用になるときの注意点

１．ご契約に関するご注意

●加入電話の契約をしていない場合、緊急ダイヤル（１１０番、１１８番、１１９番等）や１００番ダイヤルは使用することができません。また、1ＸＸ番ダイヤルなどの加入電話でのみ利用可能な電話番号も使用することができません。
●IP電話でご利用いただける接続先は、契約しているプロバイダのサービス内容に従います。詳しくは、契約しているプロバイダにご確認ください。

２．ご使用になる電話機について

●ご使用になる電話機は端末審査協会適合マーク「　」または「　」がついているものをご使用ください。
●本商品の電話機ポートは擬似的にアナログ電話回線と同じ環境を作っています。実際のアナログ電話回線とは異なるため、通信機器によっては使用できない場合があります。
●本商品に接続している電話機のＡＣＲ等が動作している場合、IP電話が使用できない場合があります。また、ＡＣＲ等の機能によって、加入電話を利用した場合は、通信に対して利用料金がかかります。必ず、電話機のＡＣＲ等の機能は停止させてください。

３．接続についての注意事項

●本商品の電話機ポートに接続できる電話機は１台までです。

４．IP電話をかけるときの注意事項

●IP電話では、緊急ダイヤル（１１０番、１１８番、１１９番等）や加入電話サービスに依存した電話番号にはかけることができません。
●加入電話に加入していない場合、上記番号に発信すると「ピッピッ、ピッピッ．．」という接続規制音となります。
●緊急ダイヤル（１１０番、１１８番、１１９番）をかけたあと、約3分間はIP電話をかけることはできません。このときVoIPランプは赤点滅します。この場合、全ての発信は、加入電話経由となります。電話番号の前に「００００」（ゼロを４つ）を付加する必要はありません。加入電話の利用料金が発生しますのでご了承ください。
●加入電話に加入している場合でも、IP電話経由が優先的に利用されます。
●1ＸＸ番ダイヤルなど電話番号によっては加入電話でしか使えない場合もあります。この番号を加入電話でかけようとする場合は、自動的に加入電話経由となりますので、電話番号の前に「００００」（ゼロを4つ）を付加する必要はありません。

●マイライン（マイラインプラス）をご使用になる場合は、「００００」（ゼロを４つ）を電話番号の先頭に付けてから、通常の発信方法で発信してください。この場合の通話料は、マイライン（マイラインプラス）に登録している電話会社から請求されます。

●IP電話のご使用前には、必ず本商品前面のVoIPランプが緑色点灯していることを確認してください。この場合、受話器をあげるとVoIPランプが点滅します。IP電話をご使用の場合は、ダイヤル後に受話器から「ププププ」というIP電話選択音が聞こえてきますのでご確認ください。IP電話通信中はVoIPランプが緑色点滅になります。

●IP電話で接続できない場合は、自動的に加入電話としての発信に切り換わる場合があります。その場合、受話器から「ププププ」というIP電話選択音のあとに「プーッ」という加入電話選択音が１秒間聞こえます。加入電話で通信中になると電話ランプが緑色点滅します。加入電話の利用料金が発生しますのでご了承ください。

●Web設定画面で、［情報］→［IP電話の状態］で［IP電話利用停止］が設定されている場合、VoIPランプは赤色点滅します。この場合、全ての発信は、加入電話経由となります。電話番号の前に「００００」（ゼロを４つ）を付加する必要はありません。加入電話の利用料金が発生しますのでご了承ください。また、IP電話を開始する場合は、［IP電話利用開始］をクリックしてください。

●VoIPランプが赤色点灯している場合は、IP電話は使えません。この時に電話をご使用になる場合は、電話番号の前に「００００」（ゼロを４つ）を付加して加入電話をご使用ください。加入電話の利用料金が発生しますのでご了承ください。
「００００」を付加しない場合は、「ピッピッ、ピッピッ．．」という接続規制音が流れ、発信できません。

●VoIPランプが消灯している場合は、IP電話は使えません。この時に電話のご使用は、加入電話のみとなります。加入電話の利用料金が発生しますのでご了承ください。電話のご使用方法は、IP電話基本設定の設定状態およびVDSL回線／PPPのリンク状態によって以下の通りになります。

<table>
<tr><th>IP電話基本設定</th><th>VDSL/PPP状態</th><th>電話のご使用方法</th></tr>
<tr><td>未設定</td><td>リンク未確立
リンク確立</td><td>加入電話のみとなります。
電話番号の前に「００００」（ゼロを４つ）を付加する必要はありません。</td></tr>
<tr><td>正しく設定されている</td><td>リンク未確立</td><td rowspan="2">加入電話のみとなります。電話番号の前に「００００」（ゼロを４つ）を付加して加入電話をご使用ください。「００００」を付加しない場合は、「ピッピッ、ピッピッ．．」という接続規制音が流れ、発信できません。</td></tr>
<tr><td>誤って設定されている</td><td>リンク未確立
リンク確立</td></tr>
</table>

●停電時および、本商品の電源がオフの場合には、IP電話は使用できません。この場合、全ての発信は、加入電話経由となります。電話番号の前に「００００」（ゼロを４つ）を付加する必要はありません。加入電話の利用料金が発生しますのでご了承ください。また、IP電話による通話中に停電および、本商品の電源がオフになると、通話が切断されます。

５．IP電話の設定についての注意事項

●IP電話をご使用になるには、登録が必要となります。
●IP電話の登録方法については、IP電話サービスを提供するプロバイダの説明書をご覧ください。本商品に必要なIP電話の設定は、IP電話サービス登録時に本商品に自動的に行われます。ただし、プロバイダによっては、本商品に対してIP電話用の設定を手動で行う必要があります。

６．その他の注意事項

●IP電話からファクスあるいはアナログモデム通信を行うと、失敗する場合があります。通信が失敗した場合でも、失敗した場合の通信に対して利用料金が発生します。確実に通信させたい場合には、電話番号の前に「００００」（ゼロを４つ）を付加して加入電話をご使用ください。
●下記のような場合には、IP電話の通信品質が劣化したり、ファクス通信が困難になったり、通信が切断されることがあります。
・ＶＤＳＬ回線の接続状況によって十分な帯域が取れない場合
・インターネットで十分な帯域が取れない場合
・本商品に接続しているパソコンで、ファイル転送やストリーミングサービスのような大きな帯域を必要とするサービスを使用中の場合
・IP電話で通話中に、WebブラウザからＷ本商品のWeb画面の［設定反映］をクリックした場合
●下記のような場合には、通話できないことがあります。
・加入電話においてモジュラジャックまでの回線工事が正しく行われていない場合

4-3　各種電話サービスのご使用に関して

加入電話サービスとの組み合わせ

○：従来どおりご利用可能です。
●：加入電話通話時は従来どおりご利用可能ですが、IP電話通話時は留意事項があります。
△：加入電話通話時（加入電話回線から発着信された通話）も一部制約事項があります。
×：ご利用できません。

サービス名	対応可否	制限事項
着信者側（「IP電話対応機器」ご利用者）が下記サービスを契約または利用している場合		
ナンバー・ディスプレイ キャッチホン・ディスプレイ ネーム・ディスプレイ	△	・IP電話利用中の加入電話着信の場合は、発信者番号情報が通知されません。 ・IP電話着信時は動作しません。ただし、ご契約のIP電話サービスが発信者番号を通知する機能を提供している場合は、発信者番号を表示できます。
ナンバー・リクエスト 二重番号サービス でんわばん	●	・IP電話への着信時は動作しません。
ナンバー・アナウンス ナンバーお知らせ１３６	●	・IP電話への着信履歴はお知らせしません。
迷惑電話おことわりサービス	●	・IP電話への着信は拒否できません。
なりわけサービス	×	・なりわけサービスをおこなっていても、加入電話の着信音をなり分けることができません。
キャッチホン	●	・加入電話通話中の加入電話着信時のみ動作します。
キャッチホンII	△	・加入電話通話中の加入電話着信時のみ動作します。IP電話利用中の加入電話着信はメッセージセンタに転送されません。 ・ＣＰＴ音［断続音］（注１）を聴取できません。 ・IP電話利用中にメッセージ有りの通知が来た場合、割込音が聞こえます（注２）。
ボイスワープ ボイスワープセレクト	△	・加入電話への着信時のみ動作（転送）します。 ・解除忘れ警告音が鳴らないなどの誤作動をする可能性があります。
転送でんわ	△	・加入電話への着信時のみ動作（転送）します。 ・解除忘れ警告音が鳴らないなどの誤作動をする可能性があります。

マジックボックス	△	・不在時転送（センタまたは登録した転送先電話番号への転送）およびキャッチホン機能は、加入電話への着信時のみ動作します。 ・話中時転送は、加入電話通話中の加入電話着信時のみ動作（転送）します。 ・CPT音［断続音］（注１）を聴取できません。 ・解除忘れ警告音が鳴らないなどの誤作動をする可能性があります。 ・IP電話利用中にメッセージ有りの通知が来た場合、割込音が聞こえます（注２）。
モデムダイヤルイン	△	・IP電話利用中の加入電話着信の場合は、モデムダイヤルイン対応電話機をご利用の場合であっても鳴り分けができません。
発信者側（「IP電話対応機器」ご利用者）が下記サービスを利用する場合		
トリオホン	●	・加入電話通話中に第2発信することができます（第2発信には「0000」のダイヤルは不要です）。 ・IP電話利用中に第2発信することはできません。
空いたらお知らせ159	●	・相手先がIP電話通話中だった場合はご利用できません。
ボイスボックス でんわ会議 短縮ダイヤル	○	・センタへ発信するときは「0000」（ゼロを4つ）を付与してダイヤルしてください。
#ダイヤル	○	・加入電話回線を自動的に選択し発信します。
フリーアクセス ナビアクセス APナビ ダイヤルQ2	○	・ご契約のIP電話サービスが左記のサービスを対象外としている場合は、加入電話発信に自動切替されます。
Ｌモード	△	・IP電話利用中は、メッセージ到着お知らせサービスを受信できません（注３）

（注１）CPT音：センタでメッセージが残っている場合、受話器をあげるたびにDTの前に送出されるププッ、ププッ、という音。

（注２）IP電話利用中（発着/通話中）にメッセージ有りの通知が来た場合、割込音が聞こえます。
- 割込音がしている間（30秒）にオンフックすると、メッセージを聞くことができます（IP電話は切断されます）。
- 割込音がしている間（30秒）にオンフックしなかった場合は、メッセージ有り通知を受信できません。

（注３）回線種別をDPに設定してご利用の場合、一部の機種でLモードセンターへの接続に時間がかかり接続できないことがあります。その場合はPB契約でご利用ください。

※ファクシミリ通信網サービスの無鳴動自動受信（1300Hzサービス）、PBダイヤルインサービスには対応しておりません。

通話中の着信およびキャッチホンサービスについて

<table>
<tr><th colspan="2">着信のパターン</th><th>着信者側</th><th>発信者側</th></tr>
<tr><td rowspan="2">IP電話で通話中</td><td>IP電話に着信あり</td><td>通話中の通話を継続します。</td><td>お話し中になります。</td></tr>
<tr><td>加入電話に着信あり</td><td>割り込み音が鳴ります。
一旦、受話器を置くことにより、通話中の通話を切断して加入電話の着信に応答できます。</td><td>呼出音が鳴ります。</td></tr>
<tr><td rowspan="3">加入電話で通話中</td><td>IP電話に着信あり</td><td>通話中の通話を継続します。</td><td>お話し中になります。</td></tr>
<tr><td rowspan="2">加入電話に着信あり</td><td>加入電話にキャッチホンのご契約がある場合は、通常のキャッチホンの動作をします。</td><td>呼出音が鳴ります。</td></tr>
<tr><td>加入電話にキャッチホンのご契約がない場合は、通話中の通話を継続します。</td><td>お話し中になります。</td></tr>
</table>

ナンバーディスプレイ機能について

●加入電話のナンバーディスプレイサービス、およびIP電話のナンバーディスプレイの機能をご利用になるには、ナンバーディスプレイ対応の電話機が必要となります。
●加入電話（非IP電話）でナンバーディスプレイサービスをご利用になる場合は、ナンバーディスプレイサービスのご契約が必要です。
●IP電話でナンバーディスプレイ機能をご使用になる場合は、ナンバーディスプレイサービスのご契約は必要ありません。
●ナンバーディスプレイ機能をご使用になる場合は、Web設定によりナンバーディスプレイを「使用する」に設定する必要があります。設定の方法については、付属のCD-ROMに収録されている「機能詳細ガイド」を参照して、第４章「IP電話の使い方」をご確認ください。

電話回線ダイヤル種別について

●加入電話で使用している回線ダイヤル種別を「自動」に設定した場合、本商品の起動時に回線ダイヤル種別を自動的に認識します。
●ご利用環境によっては「電話回線ダイヤル種別」を「自動」に設定すると回線種別が正しく認識できず、加入電話として発信できなくなる場合があります。この場合は、加入電話のダイヤル種別にあわせ、「PB（プッシュボタン）」または「DP（ダイヤルパルス）」のいずれかに設定してください。設定の方法については、付属のCD-ROMに収録されている「機能詳細ガイド」を参照して、第４章「IP電話の使い方」をご確認ください。
●本商品の電話機ポートに接続した電話の回線ダイヤル種別も、加入電話の回線ダイヤル種別に合わせて設定してください。

4-4　IP電話の設定に関して

IP電話をご使用になるには、登録が必要です。登録方法は、IP電話サービスを提供するプロバイダの説明書をご覧ください。
本商品に必要なIP電話用の設定は、IP電話サービス登録時に本商品へ自動的に行われます。ただし、プロバイダによっては、本商品に対してIP電話用の設定を手動で行う必要があります。

※ IP電話の設定は、必ずインターネットに接続した後に設定してください。

お知らせ

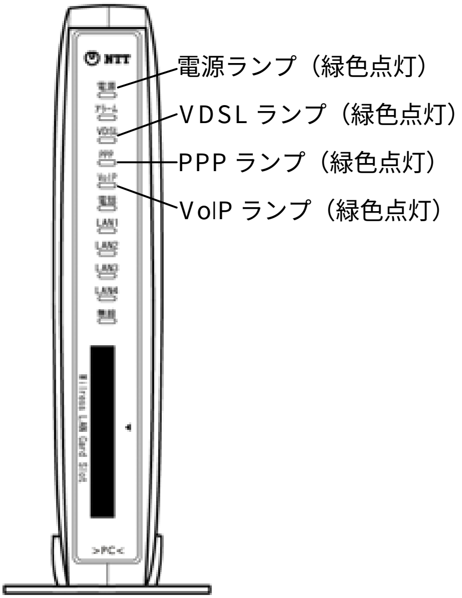
●IP電話の設定方法は、各プロバイダのサービスにより異なります。ご契約されているプロバイダのIP電話設定方法等をご確認の上、設定を行ってください。以下のサイトから各プロバイダのIP電話サービス設定情報サイトへのアクセスが可能です。

【ＮＴＴ西日本】　http://www.ntt-west.co.jp/flets/ipphone

4-5　IP電話の使い方

ランプの確認

インターネット接続の設定および、IP電話の設定が完了したら、本商品のランプ表示が下記のようになっていることを確認してください。



電話機の操作方法

１．加入電話で電話をかける場合

①受話器を取りあげると、本商品前面のVoIPランプが点滅します。
②受話器から「ツー」という音を確認します。
③相手の電話番号をダイヤルします。電話番号の前に「００００」（ゼロを4つ）つけて発信すると、加入電話への発信となります。この場合、本商品のVoIPランプは点滅から点灯に変わり、電話ランプが緑色点滅となることを確認してください。
③通話が終了したら受話器を置きます。

２．IP電話で電話をかける場合

①本商品前面のVoIPランプが緑色点灯していることを確認します。
②受話器を取りあげると、本商品前面のVoIPランプが点滅します。
③受話器から「ツー」という音を確認します。
④相手の電話番号をダイヤルします。通常のダイヤルの場合、IP電話への発信となります。この場合、呼び出し音の前に「ププププ」という音が聞こえますので確認してください。
⑤IP電話での通話中は、本商品のVoIPランプは緑色点滅します。加入電話のご契約をされている場合、IP電話で接続できない相手先の電話番号をダイヤルした時は、「ププププ」のあとに「プーッ」という音が鳴り、自動的に加入電話へ発信されます。この場合、本商品のVoIPランプは点滅から点灯に変わり、電話ランプが緑色点滅します。
⑥通話が終了したら受話器を置きます。

３．電話を受ける場合

①相手から電話がかかってくると着信音が鳴りますので、受話器を取りあげて通話を行います。加入電話での通話時は、本商品前面の電話ランプが緑色点滅します。IP電話での通話時は、前面のVoIPランプが緑色点滅します。
②通話が終了したら受話器を置きます。

お知らせ

●IP電話をご利用になるためには、IP電話サービスの契約が必要です。必ずIP電話サービスを提供するプロバイダの説明書をご参照の上、サービス契約および設定を行ってください。また、IP電話にてご利用いただける接続先は、契約しているプロバイダのサービス内容によります。詳しくは、契約しているプロバイダにご確認ください。

５章　無線LANの使用方法

この章では、無線LANをご使用になるときの注意点や無線LANの設定および使用方法を説明します。
詳細については、付属のCD-ROMに収録されている「機能詳細ガイド」を参照してください。

5-1　無線LANカード（VH-100VC-N）

■表面部



■各部の名称と機能説明

名称	機能説明
①　CardBusコネクタ	・VH-100VR-Nの無線LANカードスロットに接続します。

ランプ名称	色	状態	機能説明
②　PWR	―	消灯	・無線カードの電源が切れています。
	緑	点灯	・無線カードの電源が投入されています。
③　ACT	―	消灯	・無線LAN機能が無効状態です。
	緑	点灯	・無線LAN機能が有効状態です。

お知らせ

●無線LANカード（VH-100VC-N）は本商品には添付されていません。VH-100VC-Nをご利用になりたい場合には局番なしの116までご連絡ください。
●無線LANカードは、本商品（アクセスポイント）、および無線LAN端末（パソコン）のどちらにも使用することができます。
●無線LANカードを本商品に装着する場合、無線LANカードの表と裏を逆にして装着しないでください。無理に装着すると、本商品および無線カードが破損します。
●CardBusコネクタには手を触れないでください。故障の原因となります。
●本商品に無線LANカードを装着する／取り外す場合は、本商品の電源が落ちていることを確認のうえ、実施してください。装着／取り外し後に、本商品の電源を投入するようお願いします。電源投入したまま無線LANカードを装着する／取り外すと、正常に動作しないことがあります。
●本商品に装着する無線LANカードは、VH-100VC-N以外は使用しないでください。VH-100VC-N以外のカードをご使用になられると、装置が正常に動作しない、もしくは装置が異常状態になることがあります。
●無線LANカードをご使用のパソコンに装着する場合は、無線LANカードに添付されている「VH-100VC-N取扱説明書」をお読みの上、無線LANカードに添付されたCD-ROMから無線LANドライバをパソコンにインストールしてください。詳しいインストール手順については、「VH-100VC-N取扱説明書」をご確認ください。
●本商品は、パソコンに「VH-100VC-N」無線LANカードをご使用になられた場合のみ、無線LAN通信の動作および接続性の保証を行っています。

5-2　無線LANアクセスポイントの設定

本章では、無線LANを使用する場合の本商品に対する基本設定を説明します。無線LANネットワークを構築するために、ご使用になる環境（無線タイプ、使用チャネル）の設定が必要となります。また、任意の無線ネットワーク名（SSID）を指定することもできます。

> **お知らせ**
>
> ●本商品では、2.4GHz帯を使用するIEEE802.11b、IEEE802.11g規格のみをサポートしています。IEEE802.11a規格はサポートしていません。

5-2-1　無線LAN機能の有効化

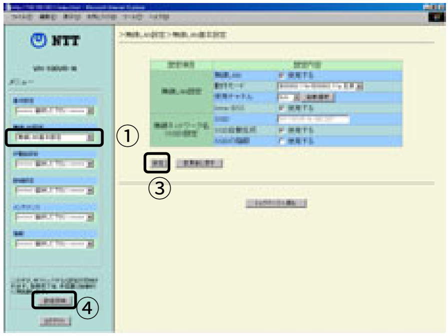
本商品の無線LAN機能は、出荷時設定で「無効」となっています。「無効」設定のままでも、各無線機能の設定はできますが、実際にご使用になる場合は、本機能を有効にする必要があります。

> **お願い**
>
> ●無線LANカードは、本商品の電源を入れる前に無線LANカードスロットに挿入してください。
> ●本商品の電源を入れる前に無線LANカードを取り付けていない場合は、本商品のWeb画面で、無線LAN接続の設定画面が表示されません。無線LANの設定を行うときは、必ず本商品の電源を入れる前に無線LANカードスロットに挿入してください。
> ●装置起動中の無線LANカードの抜き差しは、故障の原因となりますのでお止めください。

１．本商品のWeb画面にログイン後、左メニュー画面で［無線ＬＡＮ設定］→［無線ＬＡＮ基本設定］を選択し、右フレームに「無線ＬＡＮ基本設定」画面が表示されることを確認してください（右図中の①）。

２．「無線ＬＡＮ」で「使用する」にチェックを入れてください（右図中の②）。

３．入力後は、［設定］ボタンをクリックしてください。他に設定項目が無い場合は、左フレームの［設定反映］ボタンをクリックすると、装置が再起動し設定が反映されます（右図中の③④）。





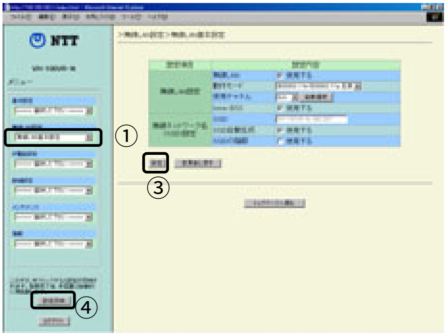
5-2-2　無線LANの動作モード

本商品の無線LAN機能は、IEEE802.11b、IEEE802.11g規格をサポートしています。両規格を同時に使用することができるマルチモードもサポートしています。

1．本商品のWeb画面にログイン後、左メニュー画面で［無線LAN設定］→［無線LAN基本設定］を選択し、右フレームに「無線LAN基本設定」画面が表示されることを確認してください（右図中の①）。

2．「動作モード」でご使用になる環境にあわせた設定を選択してください(右図中の②)。

3．選択後は、［設定］ボタンをクリックしてください。他に設定項目が無い場合は、左フレームの［設定反映］ボタンをクリックすると、装置が再起動し設定が反映されます（右図中の③④）。





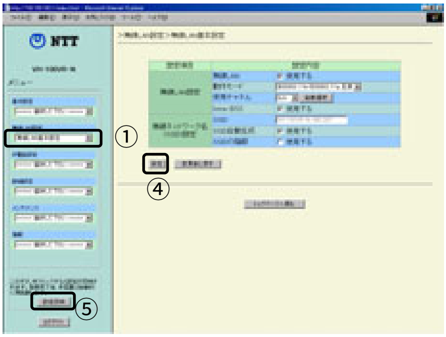
無線LANの「動作モード」を変更する場合は、付属のCD-ROMに収録されている「機能詳細ガイド」を参照して、第７章「無線設定および無線セキュリティ」をご確認ください。

お知らせ

●本商品を、IEEE802.11b／IEEE802.11gのマルチモードでご使用時、ご使用になる環境によっては、スループットが十分に出ないことがあります。
●IEEE802.11gモードでご使用の場合、IEEE802.11b規格で動作している端末は、アクセスポイント（本商品）に接続することができません。

5-2-3　無線LAN使用チャネルの選択

本商品の無線LAN機能は、2.4GHz帯において、1ch～13chまでの周波数帯を選択して利用することができます。同じ周波数を使用している他のアクセスポイントが近くにある場合、お互いに干渉することにより、スループットの低下などの現象が発生してしまいます。
本商品をご使用になる場合は、できるだけ使用する周波数帯が重ならないように周波数を選択する必要があります。本商品では、自動的に干渉の少ない周波数チャネルを選択できる機能を持っています。



1．本商品のWeb画面にログイン後、左メニュー画面で［無線LAN設定］→［無線LAN基本設定］を選択し、右フレームに「無線LAN基本設定」画面が表示されることを確認してください（右図中の①）。

2．自動的に干渉の少ないチャネルを選択させる場合は、「使用チャネル」の項目で「自動選択」ボタンをクリックしてください(右図中の②）。

3．干渉の少ないチャネルを任意で選択する場合は、「使用チャネル」の項目でチャネルを選択してください（右図中の③）。



4．選択後は、［設定］ボタンをクリックしてください。他に設定項目が無い場合は、左フレームの［設定反映］ボタンをクリックすると、装置が再起動し設定が反映されます（右図中の④⑤）。

STOP お願い

●「自動選択」ボタンは、「無線LAN」設定がすでに有効であり無線LAN機能が使える状態の場合のみ機能します。本機能は「無線LAN」が動作していることを確認のうえ、ご使用ください。

5-3　無線LANのセキュリティ対策

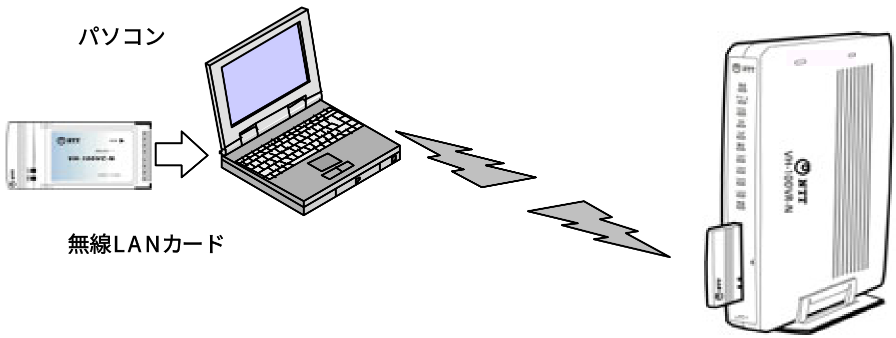
本商品は、無線ネットワーク内のデータのやりとりを他人に見られたり、不正に利用されないために、無線LANネットワークに対するセキュリティ機能を持っています。

セキュリティに対する注意事項

無線LAN端末から無線通信を行う場合は、無線LAN内のセキュリティを行うことをお勧めします。無線LAN内のセキュリティがない状態では、離れた場所から、お使いの無線ネットワークに入り込まれる危険性があります。
無線ネットワーク内に入り込まれると、パソコンのデータに不正にアクセスされたり、あなたになりすましてブロードバンド回線を使用し、インターネット上で違法行為などを行われる危険性があります。

5-3-1　他の無線LAN端末から本商品へのアクセス制限

本商品は、第三者の無線LANパソコンから無線LANアクセスポイント（本商品）や自分のパソコンに不正アクセスされないようにする機能として、無線データ暗号化機能、SSID隠蔽機能（Any接続拒否機能も含む）、MACアドレスフィルタ機能を搭載しています。
無線LAN端末が複数台ある場合は、それぞれの無線LAN端末についてセキュリティの設定を行う必要があります。



5-3-2　無線の暗号化方式の設定（アクセスポイント）

ユーザが指定した任意の文字列を暗号化キーとして無線LANアクセスポイント（本商品）と無線LAN端末に登録することによって、暗号化キーが一致した場合のみ通信ができるようになる機能です。これにより、送受信される無線通信データを暗号化して保護しますので、第三者からの傍受や盗聴から無線通信データを守ることができます。

本商品でサポートされる暗号化方式

●暗号化なし
　暗号化が実施されません。本設定の使用に関しては、特別な場合を除いては実施しないことを推奨します。第三者が無線LANネットワークに簡単に入ることができますので、注意してください。

●WEP（Wired Equivalent Privacy）
　IEEE802.11で定められた暗号化方式。

●WPA-PSK（TKIP）（Temporal Key Integrity protocol）
　WiFi-Allianceの新セキュリティプロトコル（WPA）に採用の暗号化方式。定期的に暗号化キー（WEP）を変更する機能やメッセージごとに改ざんを防ぐ機能があるため、WEPよりさらに強固なセキュリティを実現します。

お願い

●暗号化の設定は必ず無線LANアクセスポイント（本商品）と無線LAN端末で同じ設定にしてください。
●暗号化キーは無線アクセスポイント（本商品）１つにつき１つだけ使用します。複数の無線LAN端末を使用する場合は、すべての無線LAN端末に無線LANアクセスポイント（本商品）と同じ暗号化キーを設定してください。
●１つのネットワークで使用できる暗号化方式は、１つです。混在はできません。また、WPA-PSK（TKIP）の暗号化方式をご利用になるには、対応した無線LAN端末が必要です。

暗号化の設定方法

本章では、暗号化方式が「ＷＥＰ」である場合のＷＥＰキーを用いた暗号化の設定方法について説明します。「暗号化なし」および「ＷＰＡ-ＰＳＫ（ＴＫIP）」の設定方法については、付属のＣＤ-ＲＯＭに収録されている「機能詳細ガイド」を参照して、第７章「無線設定および無線セキュリティ」をご確認ください。

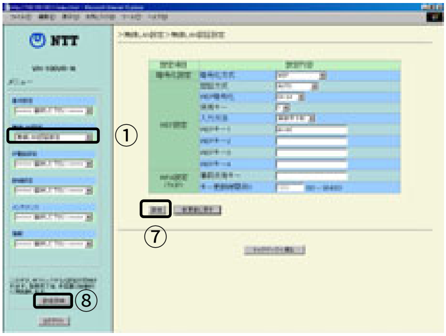
１．本商品のWeb画面にログイン後、左メニュー画面で［無線ＬＡＮ設定］→［無線ＬＡＮ認証設定］を選択し、右フレームに「無線ＬＡＮ認証設定」画面が表示されることを確認してください（右図中の①）。

２．「暗号化設定」で［ＷＥＰ］を選択してください。選択後、「ＷＥＰ設定」の各項目が有効となります（右図中の②）。

３．「ＷＥＰ暗号化」で、［６４-bit］を選択して下さい（右図中の③）。

４．「使用キー」にて1を選択し、「ＷＥＰキー１」において、暗号化で使用するキーを指定してください。入力方法で指定された「英数字5桁」もしくは「１６進数１０桁」に従った入力を行ってください（右図中の④⑤⑥）。

５．入力後は、［設定］ボタンをクリックしてください。他に設定項目が無い場合は、左フレームの［設定反映］ボタンをクリックすると、装置が再起動し設定が反映されます（右図中の⑦⑧）。





お知らせ

●「認証方式」、「ＷＥＰ暗号化」および「使用キー」を変更する場合は、付属のＣＤ-ＲＯＭに収録されている「機能詳細ガイド」を参照して、第７章「無線設定および無線セキュリティ」の「暗号化／認証設定」をご確認ください。

5-3-3　SSIDの隠蔽機能の設定

本章では、SSID隠蔽機能の動作について説明します。
無線LANネットワークでは、無線LAN機器が通信する相手を識別するIDとして無線ネットワーク名（SSID）を使用します。このIDが一致しない限り、無線通信ができません。一般にこのネットワーク名は検索することができるため、他のパソコンからアクセスがあった場合に、そのIDが第三者にわかってしまいます。SSID隠蔽機能により、アクセスポイント（本商品）からSSIDを通知する機能を停止させることができるため、第三者によって検索されることはありません。
また、無線LAN端末におけるSSIDの設定が、空欄設定時または「ANY」もしくは「any」と設定されている場合は、無線LAN端末はどのような設定のアクセスポイントにも接続可能です。SSID隠蔽機能は、このような「Any接続」に対する拒否機能としても動作し、「Any接続」設定を行っている無線LAN端末からのアクセスを拒否し、一致するSSIDを持つ無線LAN端末のみ接続を許容します。

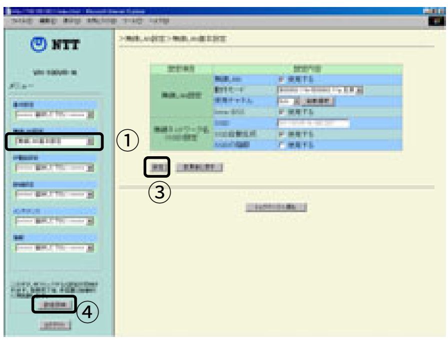
お願い

●本機能を有効にする前に、無線LANアクセスポイント（本商品）と無線LAN端末の間で通信が確立していることをお確かめください。

1．本商品のWeb画面にログイン後、左メニュー画面で［無線LAN設定］→［無線LAN基本設定］を選択し、右フレームに「無線LAN基本設定」画面が表示されることを確認してください（右図中の①）。

2．「無線ネットワーク名（SSID）設定」で［SSIDの隠蔽］の「使用する」にチェックを入れてください（右図中の②）。

3．入力後は、［設定］ボタンをクリックしてください。他に設定項目が無い場合は、左フレームの［設定反映］ボタンをクリックすると、装置が再起動し設定が反映されます（右図中の③④）。





お知らせ

●「SSID」を変更する場合、付属のCD-ROMに収録されている「機能詳細ガイド」を参照して、第７章「無線設定および無線セキュリティ」の「SSIDによるセキュリティ」をご確認ください。

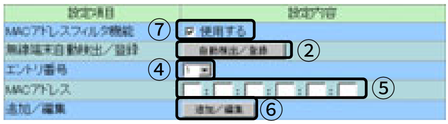
5-3-4　MACアドレスフィルタ機能の設定

MACアドレスが登録された無線LAN端末のみがデータ通信できるようにする機能です。これにより、MACアドレスが登録されていない無線LAN端末から本商品の無線LANネットワークへの接続や本商品を介したインターネットへの接続を防ぐことができます。

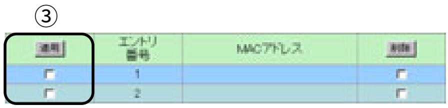
1．本商品のWeb画面にログイン後、左メニュー画面で［無線LAN設定］→［MACアドレスフィルタ設定］を選択し、右フレームに「MACアドレスフィルタ設定」画面が表示されることを確認してください（右図中の①）。



2．接続中の無線LAN端末を登録する場合は、［自動検出／登録］ボタンをクリックしてください。検出された一覧から接続許可を行うデバイスのMACアドレスをチェックして、［適用］ボタンをクリックしてください（右図中の②③）。



3．MACアドレスを登録する場合は、［エントリ番号］を指定し、［MACアドレス］を入力し、［追加／編集］をクリックしてください。登録したMACアドレスをチェックして、［適用］ボタンをクリックしてください（右図中の③④⑤⑥）。



4．登録され、適用されているエントリを有効にするために、［MACアドレスフィルタ機能］の「使用する」にチェックを入れてください（右図中の⑦）。

5．他に設定項目が無い場合は、左フレームの［設定反映］ボタンをクリックすると、装置が再起動し設定が反映されます（右図中の⑧）。

お知らせ

●「MACアドレスフィルタ機能」についての詳しい説明は、付属のCD-ROMに収録されている「機能詳細ガイド」を参照して、第７章「無線設定および無線セキュリティ」の「MACアドレスフィルタ機能」をご確認ください。

6章　お困りのときには

VH-100VR-Nがうまく動かない、操作しても違う結果になるなど、お困りのときには本章をお読みください。

6-1　トラブルシューティング

トラブルが起きたときや疑問点があるときは、こちらをお読みください。
該当項目がない場合や、対処をしても問題が解決しない場合は、本商品を初期化して、初めから設定し直してください。初期化を行うとVDSL動作モードを除く本商品の設定が全て消去されますのでご注意ください。初期化を行う場合は、現在の設定内容を保存しておくことをお勧めします。初期化の方法については、「機能詳細ガイド」において、第９章「その他機能」の「設定の初期化」を参照してください。

接続に関するトラブル

症状	原因と対策
VDSLランプが点滅を続けている	VDSL回線の接続が正しいか確認してください。「回線」と表示されたポートにモジュラケーブルが差し込まれているか、もしくはモジュラジャックにモジュラケーブルが差し込まれているか確認してください。
LANランプが点灯しない	①LANの接続を確認してください（「1-5 本商品の接続方法」（P.9）参照）。 ②LANの接続設定（伝送速度、伝送モード、MDI／MDI-X設定）が正しいかどうか確認してください（「機能詳細ガイド」を参照して、第５章「LAN側インタフェースの設定」の「LANポート伝送速度／伝送モード」をご確認ください。）。 ③接続に問題がなければ、LANカードが正しく動作しているか確認してください。なお、LANカードについてのトラブルは、パソコンあるいはLANカードのメーカーにお問い合わせください。 ④パソコンの電源が入っているか確認してください。

設定に関するトラブル

症状	原因と対策
ＶＤＳＬランプが点滅を続けている	「ＶＤＳＬ動作モード」の設定が指定されたモードになっているか確認してください。間違っている場合は、再設定してください（「3-3 VDSL動作モードの設定」（P.30）を参照）。
ＰＰＰランプが消灯している（オフライン中）	「接続ユーザ名」、「接続パスワード」が指定された値であるか確認してください。間違っている場合は、再設定してください（「3-2 PPPoE接続（かんたん設定）」（P.29）を参照）。
VoIPランプが消灯している（IP電話回線利用不可）	①「接続ユーザ名」、「接続パスワード」が指定された値であるか確認してください。間違っている場合は、再設定してください（「3-2 PPPoE接続（かんたん設定）」（P.29）を参照）。 ②「IP電話基本設定」の各項目に設定がされているか確認してください（「4-4 IP電話の設定に関して」（P.42）を参照）。

無線ＬＡＮに関するトラブル

症状	原因と対策
Web設定画面に無線ＬＡＮに関する設定表示がない	本商品に電源を入れる前に無線ＬＡＮカードを取り付けているか確認してください。
無線ＬＡＮが動作しない	①本商品に電源を入れる前に無線ＬＡＮカードを取り付けているか確認してください。 ②本商品指定の無線ＬＡＮカードを取り付けているか確認してください（「5-1 無線ＬＡＮカード（ＶＨ-１００ＶＣ-Ｎ）」（P.46）参照）。 ③ご使用の無線ＬＡＮ端末と通信を行うための設定（暗号化等）が正しく設定されているか確認してください（「機能詳細ガイド」を参照して、第７章「無線設定および無線セキュリティ」をご確認ください。）。

通話/ダイヤルに関するトラブル

症状	原因と対策
受話器を取りあげても発信音が聞こえない	本商品と電話機を接続している電話機コードを含め機器の接続構成を確認してください（「1-5 本商品の接続方法」（P.9）参照）。
電話機からダイヤルしても発信音が停止しない	①電話機の設定が加入電話契約（DP（ダイヤルパルス指定）／PB（プッシュホン信号指定））と一致しているかを確認してください。一致していないときは電話機の設定を変更してください。 ②Web画面から、メニューの「IP電話設定」→「IP電話詳細設定」を選択し、「電話回線ダイヤル種別」が加入電話の契約と一致しているか確認してください。一致していないときは本設定を正しく変更してください。 （「機能詳細ガイド」を参照して、第４章「IP電話の使い方」をご確認ください。）
相手先が応答しない	①相手先の電話番号を確認してください。 ②「市外局番」が正しい番号か確認してください。間違っている場合は設定してください。 （「機能詳細ガイド」を参照して、第４章「IP電話の使い方」をご確認ください。）
IP電話回線が利用できない （「VoIP」ランプが点滅しない）	①加入電話回線を選択する電話番号をダイヤルしている場合があります（電話ランプが緑色に点滅します）。電話番号をご確認ください（「7-2 本商品を扱ううえでの注意事項」（P.65）参照）。 ②緊急通話（110／118／119）にダイヤルした場合、約３分間はIP電話を利用することができません。 ③本商品のWeb画面で、[情報]→[IP電話の状態]において[IP電話利用停止]をクリックした場合は、[IP電話利用開始]をクリックしてください。

パソコンに関するトラブル

症状	原因と対策
パソコンからインターネットへアクセスできない	①パソコンにIPアドレスが設定されているか確認してください（「2-5 パソコンの接続確認」（P.23）参照）。 ②Pingを送信し、通信の正常性を確認してください（「機能詳細ガイド」を参照して、第９章「その他機能」の「PINGテスト」をご確認ください。）。

その他のトラブル

症状	原因と対策
電源アダプタのコンセントを差し込んだのに本商品の電源ランプが緑点灯しない	アダプタのケーブルが本商品に接続されているか確認してください。
アラームランプが点灯する	本商品で異常が発生しています。本商品の電源を入れ直しても復旧しない場合は、当社、故障受付へお問い合わせください。

（注）上記対策を実施しても問題が解決しない場合、上記問題以外のトラブルが発生した場合は、当社、故障受付へお問い合わせください。

７章　付録

7-1　ハードウェア仕様

VH-100VR-N（本体部分）

■仕様一覧

項目	仕様	記事
LANインタフェース	10BASE-T/100BASE-TX（IEEE802.3/802.3u）×４（RJ45）	
VDSLインタフェース	収容回線数：１回線（RJ11）	
加入電話インタフェース	収容回線数：１回線（RJ11）	
無線LANインタフェース	PC Card Standard（CardBus）TypeⅡ	
使用電源	AC100V±10V（50/60Hz）	
消費電力	20W以下	
外形寸法	約37(W)×174(D)×199(H)mm	突起部を除く
質量	540g以下	装置本体のみ
動作環境	温度：0～40℃ 湿度：5～80%	結露しないこと
情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）	クラスB情報技術装置	

7-2　本商品を扱ううえでの注意事項

加入電話回線を選択する電話番号

1XX番号（184、186を除く）や、＃から始まる番号にダイヤルした場合、自動的に加入電話回線へ接続されます。

例えば、加入電話回線を選択する電話番号は以下のとおりです。

分類	番号	項目
緊急	110	警察
	119	消防
	118	海上
サービス	100	100番通話
	106	コレクトコール（コミュニケータ扱い）
	108	自動コレクトコール
	107	新幹線列車通話
	117	時報
	177	天気予報
	171	災害用伝言ダイヤル
	122	固定優先接続機能解除　※１
受付	104	番号案内
	115	電報申込
	113	故障受付
	114	お話中調べ
	116	注文受付
	14X	ボイスワープ設定用番号など
	136	ナンバー・アナウンス／ナンバーお知らせ136
	156	空いたらお知らせ156
	121	クレジット通話　※１

※１：番号入力後、続けて番号入力のあるもの

その他の注意事項

●下記のような場合には、IP電話の通話品質が劣化する場合があります。
- ・ＶＤＳＬ回線の状況によって十分な帯域が確保できない場合
- ・インターネットで十分な帯域が確保できない場合
- ・本商品を接続しているパソコンで、ファイル転送やストリーミングサービスのような大きな帯域を必要とするサービスを使用中の場合

●本商品に接続している電話機のＡＣＲ等の機能が動作している場合

IP電話が使用できない場合があります。ＡＣＲ等の機能によって、加入電話を利用した場合には通信に対して利用料金がかかります。必ず、電話機のＡＣＲ等の機能は、停止させてください。

●停電時および、本商品の電源オフの場合

IP電話をご利用になれません。また、IP電話による通話中に停電および、本商品の電源がオフになると、通話が切断されます。

7-3　故障の場合は

故障した場合のお問い合わせは局番なしの１１３番へご連絡ください。

MEMO

注　　意
本商品は、外国為替および外国貿易法が定める規制貨物に該当いたします。
本商品は、国内でのご利用を前提としたものでありますので、日本国外へ持ち出す場合は、同法に基づく輸入許可等必要な手続きをお取りください。

NOTICE
This product, which is intended for use in Japan, is a controlled product regulated under the Japanese Foreign Exchange and Foreign Trade Law.
When you plan to export or take this product out of Japan, please obtain a permission, as required by the Law and related regulations, from the Japanese Government.

この取扱説明書は、森林資源保護のため、再生紙を使用しています。

当社ホームページでは、各種装置の最新の情報やバージョンアップサービスなどを提供しています。本商品を最適にご利用いただくために、定期的にご覧いただくことをお勧めします。

当社ホームページ；http://www.ntt-west.co.jp/kiki/

使い方等でご不明の点がございましたら、ＮＴＴ通信機器お取扱相談センタへお気軽にご相談ください。

■NTT西日本エリア（富山県・岐阜県・愛知県・静岡県以西の各府県）でご利用のお客様

お問い合わせ先：フリーダイヤル 0120-109217（トークニイーナ）（平日9:00～17:00）

電話番号をお間違えにならないように、ご注意願います。

故障した場合のお問い合わせ

お問い合わせ先：フリーダイヤル 0120-248995（24時間・年中無休）

電話番号をお間違えにならないように、ご注意願います。

NTT

本2657-1（２００４．１０）
VH-100VR-Nﾄﾘｾﾂｾｯﾄ